

平成二十七年五月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十三巻 第五号 通巻七一四号



日本書道芸術協会

2015- 5

## 巻頭言

### 読売展を迎えるにあたつて

副理事長 中村巍山

光陰矢のごとし、今年も書象展出品作品を終了し、四月も半ばとなりました。この夏は第三十一回の読売書法展「本格の輝き」が開催されます。皆さん早め早めの構想を練り上げて凛とした信山流を発表しましょう。

読売書法展は日展に続いて難関な書展です。制作には用意周到にして綿密な計画が必要です。作品の善し悪しは全体的に観て、布置、字形、線質、墨色などバランスがとれているかで決まります。

又、審査の方法も数千点の作品が対象です。それぞれ瞬間に選別するので、より印象的な作品が求められます。更に推敲を重ねて練度の高い作品を出品しましょう。

それに対応するには、自分に合う作品を制作することが一番です。書象展のように会員同士の内輪の書展では、大胆かつ思い切った個性的な作品で刺激し合うのも効果的ですが、日本を代表する書展では規格や形式にかなう詩文や文字の選択も重要な要素になります。特に字句の内容に添うような字形や構成力、その上見せ場をアピールしてよりインパクトを持った作品が効果的でもあります。

今回展から公募に限り臨書の出品が認められました。会員の皆さんは、古典の九成宮、化度寺碑、張猛龍碑、集字聖教序、蘭亭叙、枯樹賦などを半紙で練習を重ねているので少々有利ではないでしょうか。

以前、上條先生はお稽古の度に唐時代迄の漢、北魏を中心いて古典を一つ選び、隸、楷、行、草、仮名を研鑽して自分自身の作品にプラスになるよう教示されたことが脳裏に浮かびます。又、先生が推奨された臨書の方法は印象的、写実的臨書を経て、自分の主觀の入った表現的臨書へと発展させることでした。私達会員は半紙はもとより自分の好みに合った字句や形式に挑み、小さな枠を破る位の勢いで作品を創り出したいのです。

昨今は社会的に高齢化が進んでいます。書道界も例外ではありません。出品者が年々減少しがちですが、その中には、信山流に魅せられた七十代、八十年代の方々が一生懸命筆を走らせ学習に意欲を燃やされています。「書は一生の稽古なり」と自身をもって示されている姿に敬服しています。

私もあつという間に古希を迎えました。格調高い信山流を微力ながら継承しようと改めて肝に銘じています。若い会員、永い会員が共に一丸となつて協力して信山書法の発展に頑張つて参りましょう。



浩々たり黄河の水（寒山詩）

5月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付  
手本は罫線入りですが、出品者は罫線のない半紙を使用してください。



文 神 協 爾 道 天

- ・中心線を確認して書く。
- ・横画の平行をしっかりと守り、文字の中の空間を美しく書く。
- ・右はらいはのびのびと水平にはらう。



焉——横画を同方向に。

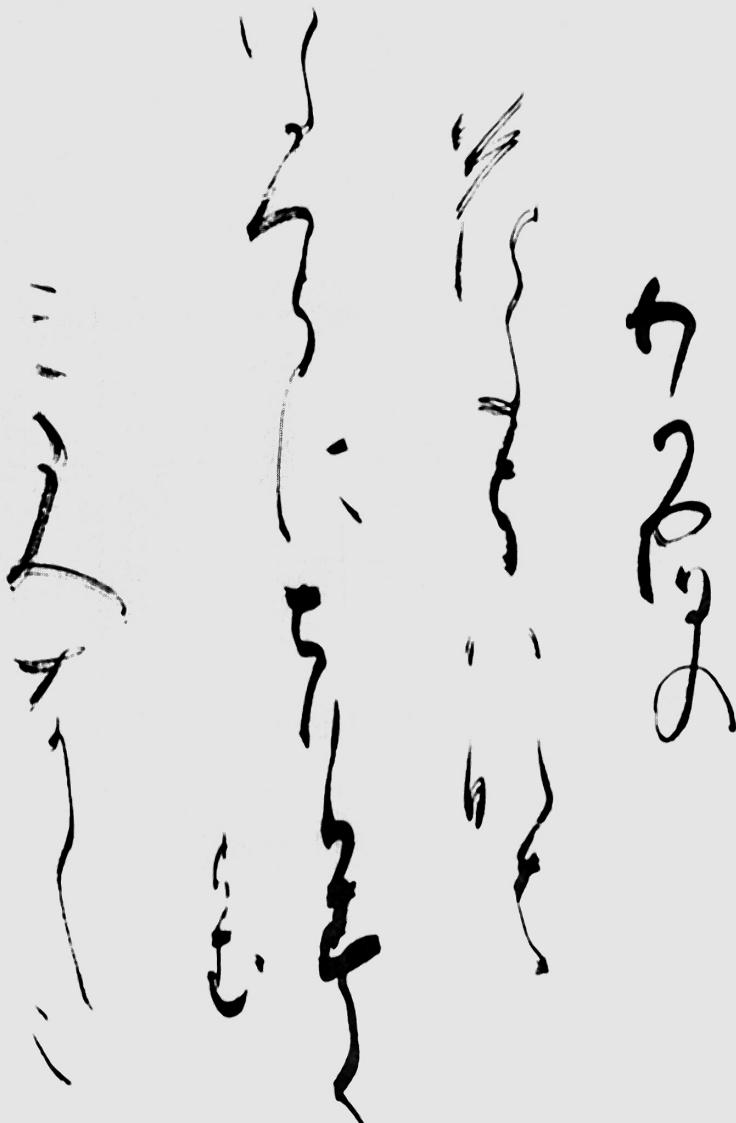


教——偏と旁のバランス、  
横画の長さ、払い  
を美しく。

・横画、縦画、払い、  
すべての線において  
姿勢を正してしまい  
そうな厳格さを覚え  
ます。一点一画を丹  
念に見つめ臨書しま  
しょう。

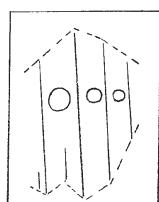
仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

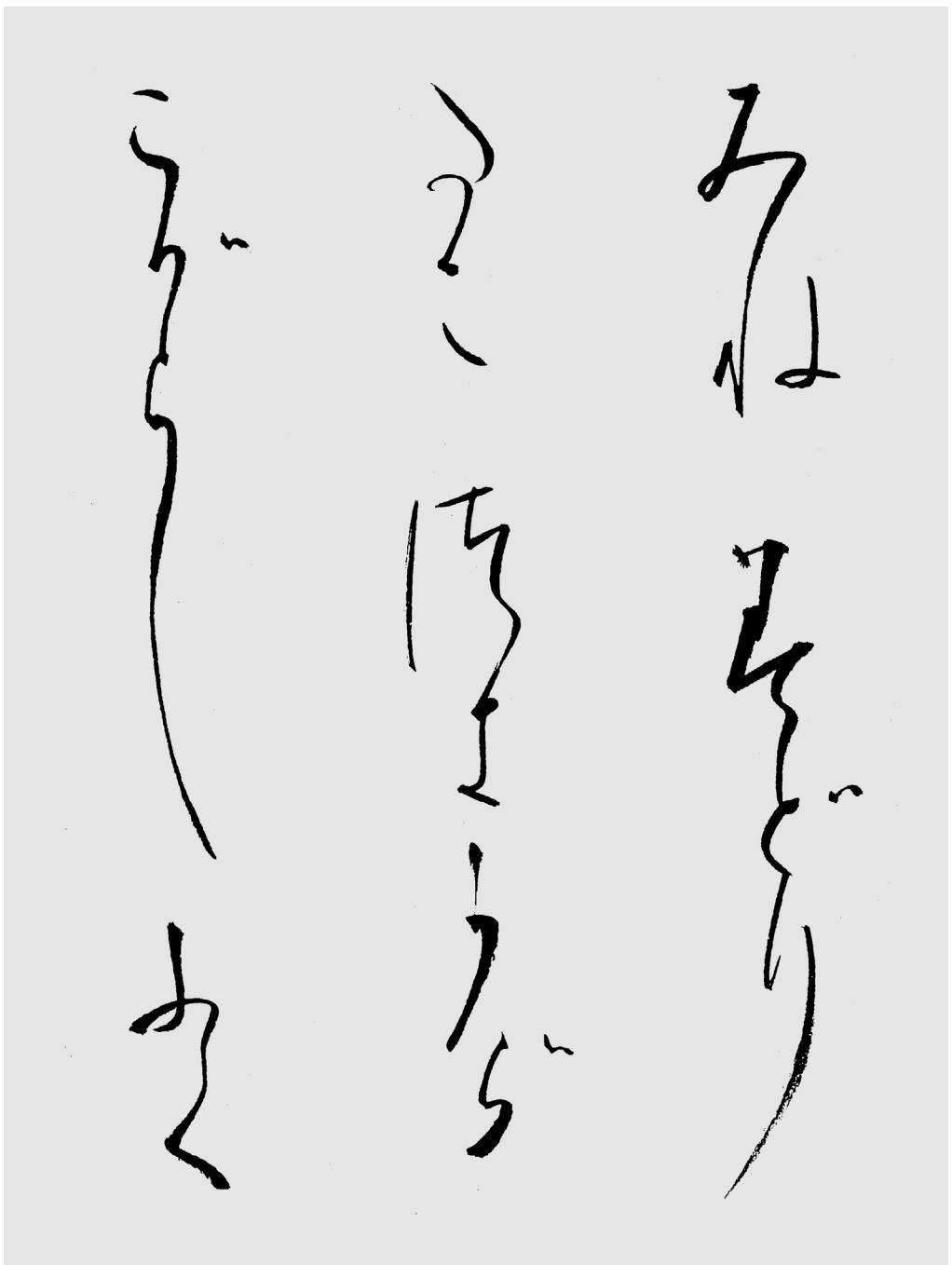


わが(可)宿の花た(多)ちば(八)な(那)は(者)いた(多)づらに  
ちりか(可)す(春)ぐらむみ(三)る人なしに(二)(万葉集)

5月20日必着  
出品券を貼付



- 第四句で墨つきをし、潤渴を工夫する。
- 中心線の位置をしつかり把握する。
- 中心線のとり方参照
- 全体構成は左の通り



・み  
ね

「み」終筆の払いを  
「ね」の縦画に続ける。

・み (美) どり

「美」は大きく。「り」  
は伸び伸びと。

A small diagram showing the two strokes for the character 'み'. The first stroke is a long, vertical downward stroke. The second stroke is a shorter, diagonal upward stroke that begins from the middle of the first stroke and extends to the right.

・た (多) に (二)

「多」の入筆の角度を  
よく見る。

・つ (徒) き (支) か  
(可) げ (介)

「徒」の中央部を広く。  
二字目から右へ。

・こが (可) らし  
最後の「し」を伸び伸  
びと。

・ふく  
やや小さめに。

・横画の方向  
〈ポイント〉



偏は第二画を長く強調。旁は七本の横画を伸びやかに書く。微妙な画の方向の違いも見抜いてほしい。

第二画の書き始めの位置と長さがこの字のポイント。口の横画の方向もえたいたい。



低頭思故鄉

竹山

頭を低したたかれて故郷を思う

- ・しっかり墨をつけて、伸びやかに書く。
- ・三つの右ハライの角度や運筆速度に変化がある。
- ・「低頭思故郷」はP14参照。

仮名条幅隨意【条隨】

上條信山先生書

入選作のみ発表します

出品券を貼付

春雨に（二）に（一）ほ（本）へる色も（毛）あか（可）な（那）くに（二）  
香さへ（遍）なつ（徒）か（可）し山吹の花  
(齋藤茂吉)

- ・筆の開閉の変化が激しい作。特に連綿部分は字形を熟知して一気に書き進めるようにしたい。
- ・「へ（遍）」「つ（徒）か（可）し」「山吹」はP14参照。

中学一年規定【学毛】

樋口玄山先生書

中学二・三年規定【学毛】

高田墨山先生書



小学五年規定【學毛】

小潤石峯先生書

田中江

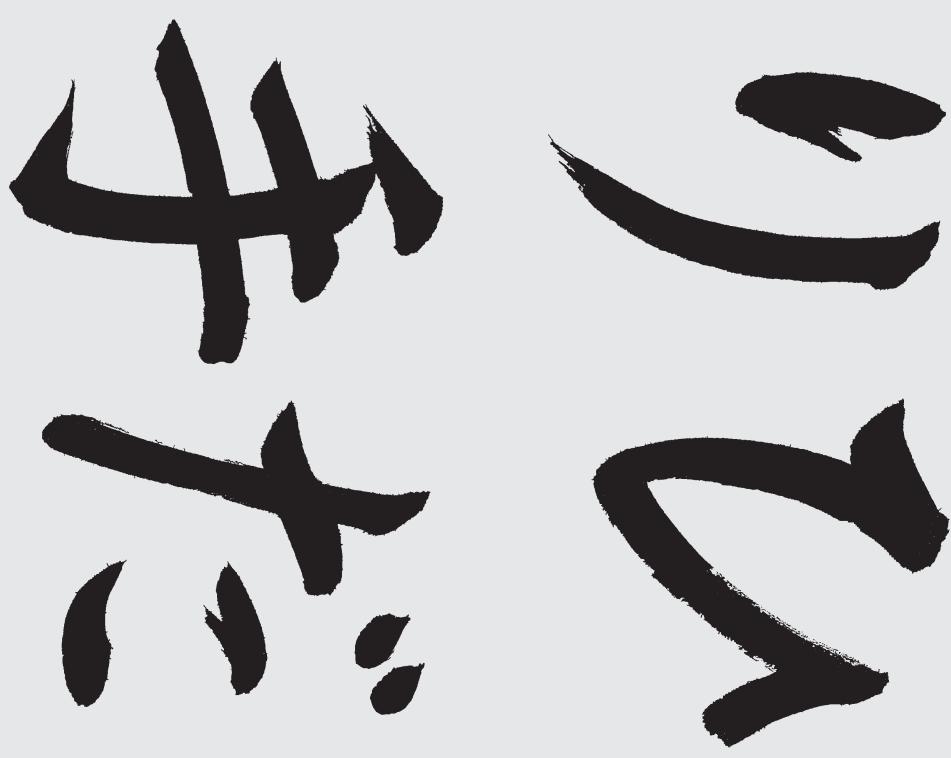
小学六年規定【學毛】

石丸曉風先生書

朝光日

小学三年規定【學毛】

竹内墨洋先生書



小学四年規定【學毛】

久保妍山先生書



小学一年規定

【学毛】

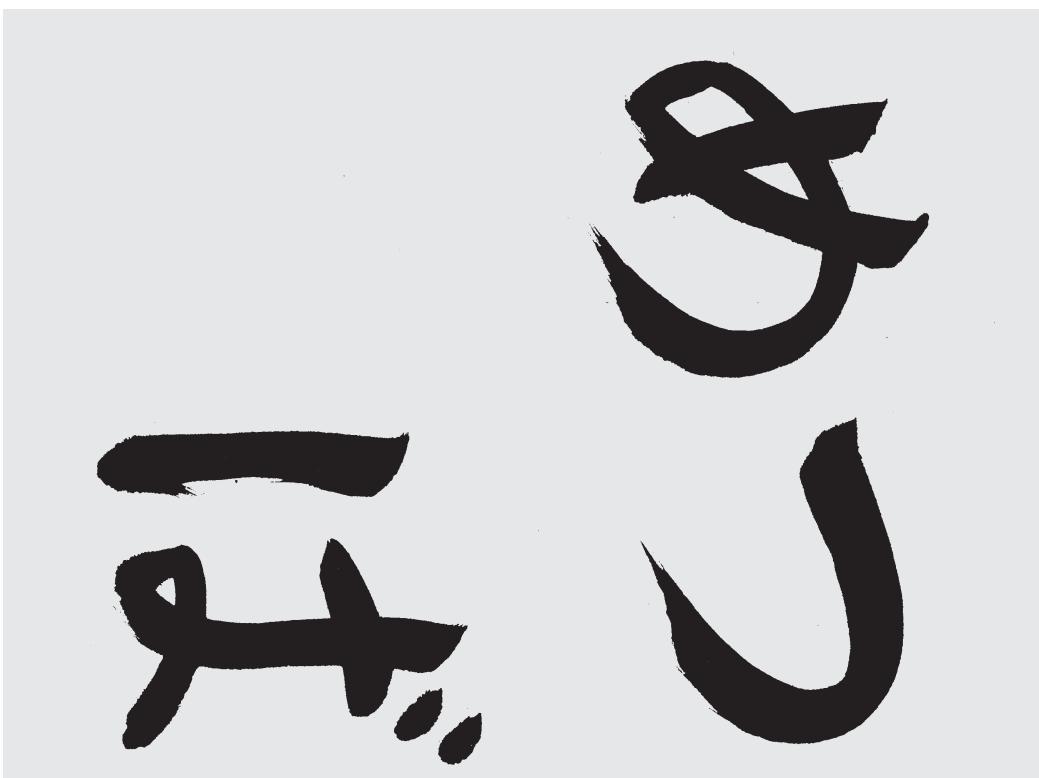
柳澤玄嶽先生書



小学二年規定

【学毛】

寺尾礪雲先生書



天衣無縫とは、詩や文章が少しの技巧もなく、自然にしかも完全であることである。

## 硬筆規定

一般規定【一硬】(師範・準師範一段位)

上條信山先生書

天衣無縫とは、詩や文章が少しの技巧もなく、

の技巧をなくして、自然にしかも完全

であらうことをある。

一般規定【一硬】(級位) 〔万葉集 卷第七 伊勢の徒驚のうた〕 内藤望山先生書

ふほりみに鳥しあらなみ  
海原のたゆたふ波に立て

中学規定【学硬】

山口啓山先生書

雲

雲間から差し込む一条の光の輝きに言ひ知れぬ喜びと深い感動を覚えた。 支部学年 氏名

## 小・中学生随意課題【字隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付して下さい。

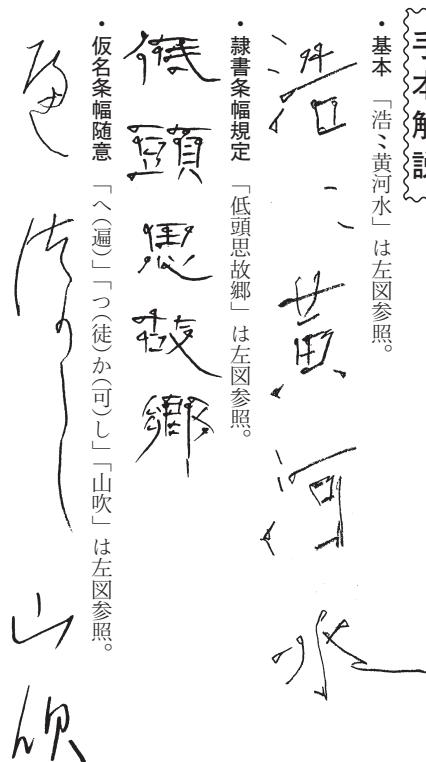
### 手本解説

・基本 「浩ミ黄河水」は左図参照。

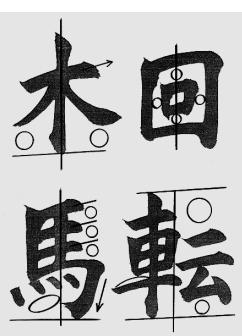
一小・二年学	山
五六学	大陸
中 学	三小・四年学
	季節



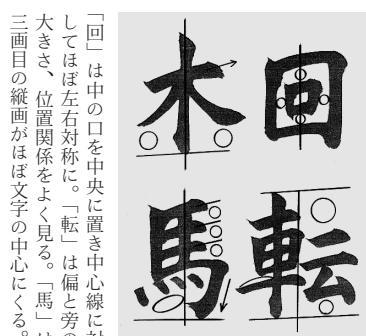
学生部規定



・隸書条幅規定 「低頭思故郷」は左図参照。



「自」は縦長の概形で横画を平行に。「律」は旁の横画の長さに留意し、ほぼ等間隔に。「精」は偏より旁がやや大きい。旁の横画は詰めて書く。「神」は偏と旁の組み立てに気をつけ、旁を縦長に。



中学一年

朝ごはんをよくかんで食べる

と、脳の働きが活発になりね

む気がさめます。

小学一・二年規定【学硬】

名前 関香風先生書

支部 年 級段

こいのぼりは風をうけて

青空をおよぎ矢車はカラ

カラ回ります。

名前 大島皎山先生書

支部 年 級段

小学一・二年規定【学硬】

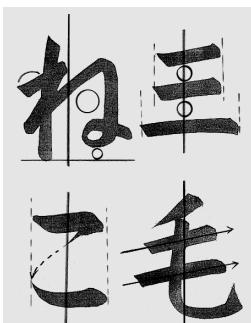
ざ	な	大
い	さ	き
ま	ん	な
す	お	ー
.	は	え
なまえ	支部	年
きだりゅうん		
よ	よ	で
う	う	、
ご	ご	み

\*出品券を貼付して下さい。

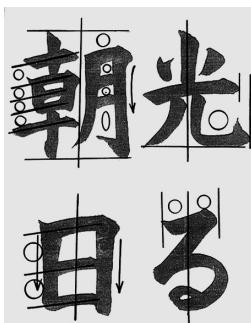
一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生はペン使用のこと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆のこと。作品の大きさ↓たて18cm 横7cm 小一・二課題↓2.1cm 中の野線を引く。小三・四・五・六課題↓2.1cm 中のマス目



小学二年

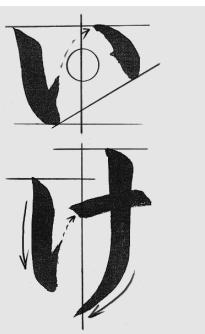


小学四年

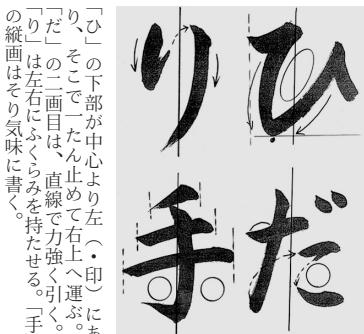


小学六年

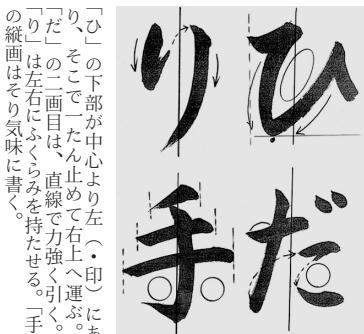
「つ」は少し右上がりに書き出し、文字のほぼ中心で終筆する。「ば」は縦画二本が向かいあうように。「め」は横長の円となる。腕全体で大きく筆を運ぶ。



小学一年



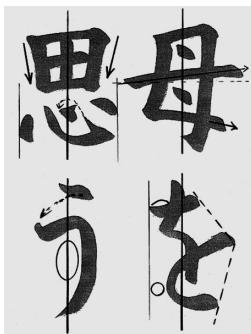
小学三年



小学五年

「光」は二画目が文字の中心。最後の曲がりを十分に右へ張り出す。「る」は最後の結びは文字の中心に。「朝」の偏は横画を右上がりに。旁の上部はあるける。

「母」の五画目は長くし、やや右上がり。「を」は三画目の始筆を右へ張り出す。「思」は田の下部を引き締め、心を横に広めにして文字を安定させる。



古典研究シリーズ 〔古典〕

◆解説

古典研究シリーズ 〔古典〕

楊大眼造像記

北魏 年代不詳

今月のテーマ

写実的臨書

中字（四字～六字）

書き方

①文字数を間違えないで出品して下さい。

②続き文字でなくてもかまいません。

③落款を入れて下さい。

④作品の表左下に、支部名と氏名又は号を鉛筆で記入して下さい。そして古典研究の出品券を貼付して下さい。

（編集部）



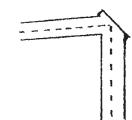
〔撰文〕

大千懷永夜之懺是以如來應群緣以顯迹像

転折について

転折の書き方は独特です。初唐の転折と比較してみると、初唐の転折は横画と縦画の中心の方向が肩の中で交わりますが(図①)、造像記の転折は肩の外で交わっています(図②)。一見、関節がはずれたような書きぶりで、横画から一旦筆を右斜め下にすべらせてています。

(二玄社 中国法書ガイドより)



# —信山先生の自伝—

## 「硯上の塵」を読む40

芸術家として書家としての登竜門、ここに立ちはだかる大きな峠が芸術院賞である。何度も候補に上っていた信山先生の悲願達成の日がきました。

### 芸術院賞

昭和五十三年、私は「汲古」によって芸術院賞を頂戴した。

この年は日本画の浦田正夫氏の一人という、例年になく少ない

受賞であった。私の受賞理由は次のとおり。



陛下の御下問にお答えする上條信山先生

氏は、知性に満ちた雄勁の筆をもって、清純にして都會的な書風を創造し、隸・楷・行にわたる秀作を多く発表している。「汲古」は氏の特異な技法を發揮して、重厚にして雄渾な表現に到達した優作であると認める。

午前十時三十分、福田赳夫總理、砂田重民文相ほかの方々と共に日本芸術院において天皇陛下をお出迎え。次いで恒例により、受賞作品について陛下の御親閲を賜るため、陛下と共に作品の前に立つ。陛下の傍らには入江侍従長、芸術院第一部部長の丹羽文雄さんの顔も見える。

「これが上條です。」

北村西望先生のご案内に、

「ああそう。」

いつものように陛下がお答えになる。ところがそれで終りではなく、思いがけなくも次々と御下問なさるのである。

「何と読むか。」

「いにしえを汲むと読みます。」

「どういう意味か。」

「論語の温故知新と同じであります。たくさんの古典を学び、それらをよく消化して、さらに新しい書を創るという意味です。」

「紙や筆、墨はどのようなものか。」

「普通の画箋紙、筆、墨であります。」

「どういうところに苦心したか。」

「自分の心を出せるようにと苦心いたしました。」

何とかお答え申し上げたものの、まったく予期せぬ御下問とあって、思わず緊張してしまった。緊張が解けたあと、静かな感動につつまれた。忘れがたいひとときであった。

# 第77回 謙慎書道会展

第一会場 東京都美術館

会期 三月二十日(金)～二十八日(土)

第二会場 池袋サンシャイン文化会館

会期 三月十九日(木)～二十七日(金)

副理事長 事務局長 今年度審査副主任 審査進行 特別賞選考委員

田中 節山



常任理事 特別賞選考委員

内藤 望山



三石玉詩三十六書  
於青竹齋 市澤靜山書

市澤  
靜山

常任理事・審査進行 特別賞選考委員

市澤 静山



常任理事 今年度審查員

石丸 晓風

遙暮三風沙晝深不外飛  
屏迷煙色雨蕭柳未風搖  
易醉愁邊酒頻切蟬哀家凭  
用一歌前代舊私如麻

曉風

常任理事 今年度審查員

久保 妍山

相送終高墨川原年行極口書  
飛萬里行人云山身猶重出  
望上泉潭聲響驚驚長夜深  
林人知否晚風來雨歇

常任理事 今年度審查員

杉山 晓雲

日本庭鄉辭客為征帆一夕遠  
蓬牽以風不歸一沈碧海  
自雲一藍色渺蒼茫

常任理事 今年度審查員

末永 晓華

誰家玉笛暗飛聲  
散入春風滿洛城  
此夜曲中聞折柳  
何人不起故園情  
西辭黃鶴樓  
月夜乘舟下長江  
孤帆遠影碧空盡  
唯見長江天際流  
總被花叢容至亂  
苦非群玉山頭見  
會向瑤臺月六連  
一枝懷艷露凝香  
而玉在新  
桂子月中落  
秋風起子清  
不知何處吹此聲  
散入春風滿洛城  
此夜曲中聞折柳  
何人不起故園情  
西辭黃鶴樓  
月夜乘舟下長江  
孤帆遠影碧空盡  
唯見長江天際流  
總被花叢容至亂  
苦非群玉山頭見  
會向瑤臺月六連  
一枝懷艷露凝香  
而玉在新

常任理事 今年度審查員

竹內 墨洋

常任理事 今年度審查員

竹內 藍山



墨洋



常任理事 今年度審查員

寺尾碩雲

常任理事 今年度審查員

西野江月



乙未立春月

西

野

江

月

常任理事 今年度審查員

二 瓶 嶽 風

秋成音未迴風初遠十日寒村夕照蘿窮徑絕人  
跡程君風扁舟牙齋啟幽寂遠未見與俱疑  
吾忘木夕微惟艱難際此復古有得否以是相應  
誰能念醫子可君尚道謹臨別增太息獨  
醉云庄空濤海雲石在望子清風微風

常任理事 今年度審查員

柳澤玄嶽

形生勢成始末相而陽  
迴以規矩激如繩圓割  
轉首情種自凝玄參

常任理事 今年度審查員

宮本耕成

驚日隨行盡知  
雪滿常鳥飛



# 第七十七回謙慎書道会展入選者発表

◇梅花賞	大島 皎山	金澤 瑞月	上條 窓苑	川島 星峰	牛丸 峰泉	榎本 妍象	大平 遊月	柳崎 詠汀	牛丸 峰泉	榎本 妍象
◇春興賞	原田 柳泉	吉田 鈴木	花照	竹内 青紗	齊藤 祥仙	斎藤 悠花	北村 曙光	小嶋 想汀	児玉 葉雪	大澤 輝節
◇推薦顧問賞	小林 皓山	吉田 節城			酒井 不同	佐久間蒼峰	清水 秀娥	越山 鈴木	花仙 関口	小倉 煙雪
◇特選謙慎賞	朝倉 惠芳	新井 雄峰	菊池 龍節	都竹 仙華	竹川 小流	竹川 関口	清水 秀娥	越山 鈴木	花仙 関口	鶴浦 加藤
◇秀逸	来司 信博	桑島 秀雪	原口 華煌	中堤 春里	都竹 仙華	野口 節風	都竹 仙華	越山 鈴木	花仙 関口	峰山 静唱
◇褒状	牧野 蘭庭	向山 大我	山田 紫華	中堤 春里	中堤 春里	野口 節風	中堤 春里	越山 鈴木	花仙 関口	湖山 琴光
	豊田 尚月			布下 真静	長田 詠李	野口 節風	布下 真静	越山 鈴木	花仙 関口	衛藤 琴光
	石原 秋葉	松村 恭月		野口 節風	永田 智翠	野口 節風	野口 節風	越山 鈴木	花仙 関口	大場 香峰
	楚峰 景華	田中 秀征		立花 壮山	立花 壮山	立花 壮山	立花 壮山	花仙 関口	花仙 関口	久保田珠悠
	磯崎 安達	吉田 美恵子		寺本 江舟	寺本 江舟	寺本 江舟	寺本 江舟	花仙 関口	花仙 関口	齊藤 盈月
	篁窓 曜峰			高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	花仙 関口	花仙 関口	久保田珠悠
	岩村 石沢	林 泰吟		高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	花仙 関口	花仙 関口	久保田珠悠
	燿花 秀庭			高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	高橋 春仙	花仙 関口	花仙 関口	久保田珠悠
平林	西谷	笛川	遠藤	阿相	山口	福島	濱野	中邑	弦照	牛丸 峰泉
静千	風聲	静章	神谷志緒里	理沙	智爽	森島	玲秀	弦照	春仙	榎本 妍象
二木	畠田	高谷	大高	石井	山中	森島	清遠	高峯	高峯	大澤 輝節
廣山	穂苑	心蓮	夢宵	菁峰	孔心	茂木	前田	富田	富田	鶴浦 加藤
	樹本	平野	小島	金子	山本	林田	珠靜	童柳	童柳	湖山 琴光
(次頁へ続)	静子	壺桜	華凌	今福	矢澤	翠山	阪野	白羊	白羊	衛藤 琴光

◇御長寿出品者  
(数え歳9歳以上の出品者特別表彰)

松岡	咲穂	務台	泰煌	吉井友依子
吉田	幸奈	六川	昌幸	

武田	紅春	横川	景城	磯崎	簞窓
鈴木	峰雲	高橋	白羊	滝澤	猛
阪野	貴翔				

◇〇20出品者

(満17歳以上20歳以下の出品者)

阿相	里沙	門脇	華杏	神谷志緒里
川田	結女	小島	華凌	高橋
竹内	歩花	館野	鳳節	里奈
村本萌里季		吉井友依子		吉田美恵子
吉田	幸奈			

（〇印は今年度審査員）

副理事長

田中 節山

○石丸 晓風  
常任理事

市澤 静山  
大澤 梢光

理 事	
渡辺	華雪
○宮本	耕成
○柳澤	玄巖
山口	啓山
○寺尾	碩雲
○西野	江月
○二瓶	虎井
○三瓶	嶽風
○竹内	墨洋
○竹内	藍山
○寺尾	露崎
○竹内	玄峯
○寺尾	石峯
○未永	暁華
○杉山	暁雲
○久保	
荻田	光山
恩田	静月
静月	○久保
萩田	光山
恩田	静月
白瀬	京香
静苑	
菅野	素杏
花照	
鈴木	春虹
劍山	
竹内	青紗
青紗	
鈴木	登舟
杉山	
蒼舟	
武田	紅春
紅春	
武原	幽節
幽節	
田中	紫花
田中	珠光
田中	出来
田中	華泉
中山	香月
中山	眞意
都所	影花
塚本	皎沙
塚本	皎沙
西貝	雅堂
西貝	
長谷川石心	
浜野	史翠
浜野	
日比野汀華	
日比野汀華	
錦織	明花
錦織	
幸楓	
幸楓	
平川	
平川	
藤牧	
藤牧	
原田	柳泉
原田	
柳泉	
柳泉	
古川	
古川	
月華	
月華	
松本	
松本	
松田	布施
松田	
藤井	柳花
藤井	
幼山	
幼山	
宮田	天遙
宮田	
天遙	
山崎	
山崎	
森	三沢
森	
三沢	
吉田	横川
吉田	
横川	
吉田	宮崎
吉田	
宮崎	
丸山	益田
丸山	
益田	
冠山	
花雲	
花雲	
柳澤	
柳澤	
山本	
山本	
草心	
草心	
京楓	
京楓	
美賀津嶽心	
美賀津嶽心	
薮内	
薮内	
光葉	
光葉	
正憲	
正憲	
横田	
横田	
横田	
横田	
余語	
余語	
山崎	
山崎	
泰仙	
泰仙	
小光	
小光	
誘光	
誘光	
小泉	
小泉	
元祥	
元祥	
惜春	
惜春	
晨英	
晨英	
吉田	
吉田	
節城	
節城	

# 第77回謙慎書道会展

## デモンストレーションの模様

期日 三月二十日（金）  
会場 東京都美術館 第一室

東京都美術館では第七十七回謙慎書道会展の初日、午前十一時より市澤静山先生、一色白泉先生、関吾心先生の揮毫デモンストレーションが行われました。第一展示室である会場には百人近い人が集まり、デモンストレーションは張りつめた緊張の中、高木聖雨先生司会進行のもと、関先生の隸書二行作品の揮毫から始まりました。

関先生は漢詩を丁寧に書き上げた後、文字の大小や行の幅の広狭を意図的に計算し、何度も練習された秘話を披露されました。一色先生は楷書四字を全紙一枚に筆の毛をねじり割って書かれ、線質に変化を生む表現法を披露されました。

三番目は市澤静山先生の『断金契』（だんきんのちぎり）の揮毫でした。「私の作品は墨を飛ばし、毛氈を汚してしまうので、揮毫の順番が最後で良かった。また、どんな字を書こうか迷ったが、昨年の日展の作品を縦書きにして書きます。」とおっしゃってから、流れるような所作で気迫に満ちた三字をもの凄いスピードで書きあげられました。その後、質問に応じて信山流の精粹である信山流藏鋒と露鋒の書き方について、基本点画を書きながら説明くださいました。

高木先生からの、どのような筆を使って揮毫されたのか、との問い合わせに、大字が羊毛の長鋒一万円を使用、落款は馬の毛の筆八百円を気に入っていると明かされ、意外に庶民価格だったのが印象的でした。また見学者から『断金契』を信山流で書いてほしい、との声が上がり、拍手と歓声の後に信山流をご披露くださいました。『断金契』とは、固く結ばれた友情のたとえで、大変好きな言葉だと、お稽古の折おっしゃっていました。

先生方の大字作品を真に見ることができ、筆庄のかけ方、運筆の速さ、はね、はらいの基本とともに、作

品の書き方の技術を学ぶことができ、貴重な時間を過ごすことができました。揮毫デモンストレーションを受けてから謙慎展を鑑賞すると、また違った感動に心を揺さぶられ、私にとって得難い体験となりました。



息遣いが会場に響く



熱のこもった作品解説

（桑島 秀雪記）

大勢の参観者



# 木曜会 古典臨書作品

木曜会は通常は古典研究の発表の場です。大きな展覧会出品時は作品研究です。作品づくりに古典研究なくては深化はありません。その研究成果をご覧下さい。

何紹基  
(清)

柳澤玄嶽



争坐位文稿 (唐 颜真卿)

露崎玄峯



争坐位文稿 (唐 颜真卿)

竹内墨洋



氏は日頃、調和体の作品発表に苦心を続けています。漢字の表現技量とかなの表現とを調和させるのですが、特に漢字力をこの古典に求めて、豊かに、雄躍する線を得ようとしています。今回の半切一行書を見る表現には感心せざるを得ません。

(解説 虎井暁鐘)

(解説 田中節山)

革新書風の開祖と言われ、剛直無比の精神の持ち主。顏真卿の古典を、写実的臨書にこだわらず、あくまでも半切臨書作品の有り方を追求した一つの結果と見たい。自由かつ大胆に、そして豊かさと勁さを兼ね備えて見事に纏めあげた習作である。

早川

（解説 二瓶嶽風）

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

## 特待生を取得して

正桂支部 中三



先生へ

照澤支部 中一



嬉しい事ばかり

千曲支部 中三



ずっと取得したかった特待生が取得でき、とても嬉しく思うとともに、これまで習字を教えて下さった先生に感謝しています。これからも日々精進して頑張りたいと思います。  
支部長先生より一言 体が弱かった未紀さん、とても心配しましたが目標の特待生が取れてホッとしています。おめでとう!

## 念願の特待生

高社支部 中二



清水 彩未

## 二冠達成

高社支部 中二



市川 結衣

## 実現した夢

名東支部 中三



林 竜矢

私が特待生試験に合格して、一番喜んでくれたのは先生です。ここまで、いつも先生に背中を押されてきました。字を書く楽しさを教えてもらいました。特待生として、これからもつといい字を書きます。  
支部長先生より一言 納得するまで書き込む花織さんの強い精神は、どこから生まれてくるのでしょうか。私も学びたい。

私は小学三年生から書道を始めました。ずっと目標だった特待生になれ、とても嬉しく思っています。これも先生や家族のおかげです。ありがとうございます。  
次は硬筆も合格できるよう頑張ります。  
支部長先生より一言 運動部で活躍する中、ピアノと書道に励み、毎回思慮深くお稽古する姿に感心しています。おめでとう。

ようやく、目標にしていた硬筆、毛筆での特待生合格を、果すことができました。自分に自信を与えてくれた書道に出会えたこと、本当に嬉しく思います。いつも親身に教えて下さった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。  
支部長先生より一言 二冠達成おめでとう。加えて合格作品が掲載され大変喜ばしい事です。益々自信に繋がるよう祈ります。

## 特待生へ向かって

新城支部 中一



木藤 希美

## 二冠達成

玄巣支部 中三



五十嵐 夏実

今回の特待生試験が最後のチャンスだったので不安でしたが、合格したと聞いた時、嬉しくてたまりませんでした。今まで練習してきた結果を出すことができたと思います。先生、ありがとうございました。  
支部長先生より一言 小2から休まず、いつも真剣でした。学業との両立、二度目のチャレンジ。よく頑張りましたね。

習字を習い始めたから約八年が経ち、やっと合格することができます。中学生になり部活とかも忙しく大変だったけれど、三度目の正直で特待生になることができとてもうれしいです。これからも頑張ります!  
支部長先生より一言 悠然と書き込む姿は、後輩達への模範ですね。航汰君の向上心は嬉しくて楽しみです。おめでとう!!

上手く字が書けなくて、「やめたい」と思ったことがありますでしたが、どんな時でも、先生がほめてくれたり、アドバイスをしてくれたので、がんばって特待生になることができました。ありがとうございました。  
支部長先生より一言 合格おめでとう。実際に黙々と打ち込む姿は頼しく思います。次の目標に向けて頑張つ下さい。

硬筆に統いて、毛筆でも特待生になることができ、とても嬉しいです。最後まであきらめずに稽古を続けることができたのは、支えてくれた家族や、熱心に指導して下さった先生のおかげです。ありがとうございました。  
支部長先生より一言 とうとう、硬筆・毛筆両方とも特待生ですね。二冠達成おめでとう!今後のご活躍に期待しています。

# 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

## 目標達成



一葉支部 中一

根岸涼香

字が上手くなかった私が特待生に合格できたのは、部活などで遅くなってしまった教室を開いて待っていて下さった先生のおかげです。又、七年間続けさせてくれた両親にも感謝です。頑張って硬筆も特待生になりたいで支部長先生より一言 早くから目標を特待生としてましたね。強い意志で中一で現実となりました。すばらしいですね!

## 特待生になつて



竹華支部 中三

秋野裕孝

私は特待生になるためにがんばり、日常生活での字のバランスがよくなり、誤字、脱字が減りました。小二から始め、八年間色々なことがありましたが書の楽しさが少しだけわかりました。これからも精進したいです。

支部長先生より一言 最後は頑張りましたね。落ちついた態度で机に向かう姿勢は好ましいものがありました。おめでとう。

## 苦労の証



中野支部 中二

湯本瑠奈

私は、小学校低学年から習字を習い始めました。学生になり忙しくなり練習する時間が少なかった日もありましたが、頑張って特待生をとることができたので良かったです。先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

支部長先生より一言 お母さんも小学生の時に通われ、親子二代で頑張りました。更なる目標に期待しています。

## 嬉しい。



八潮支部 中三

八子啓太郎

僕は、小学校四年生から習字を習い続けてきました。最初は全然上達しませんでしたが、先生のおかげでここまで来ることができました。本当にありがとうございました。これからも頑張っていきたいです。

支部長先生より一言 特待生合格おめでとう。「継続は力なり」の言葉を実践しました。次の目標に向かって頑張れ!

## 念願の目標達成



中野支部 中二

佐藤未侑

私は小一から習字を始めました。普段は左利きですが習字は右で書いています。念願の特待生になることができ、とても嬉しいです。教えて下さった先生への感謝を忘れず、これからも更に上を目指し努力していくで

支部長先生より一言 めでとう未侑ちゃん。学校の副会長の立場でよく頑張りました。今後の活躍を楽しんでいます。

## 大好きな習字



正桂支部 中三

白浜奎音

私は、特待生になることができて、とても嬉しいです。約九年間、習字を続けていて集中力など多くのことを身につけることができました。私は、習字が大好きなのでこれからも続けていきたいと思いました。

支部長先生より一言 可愛くて心もとなかった奎音さんが、逞しく優秀な中学生に成長しました。本当にありがとうございました!!

## 上を目指して



聖支部 中三

竇河原美夢

なかなか部活動との両立が難しく、おかげでに参加できない日もたくさんありました。特待生試験に合格できて嬉しく思います。卒業後も、さらに上の段を目指し日々練習に励みたいと思います。

支部長先生より一言 高校でも書道を続ける事を目標に頑張りましたね。おめでとう!書展ので入賞も自信になりました。

## 特待生



霞墨支部 中二

石井愛莉

前回は毛筆、今回は硬筆と、両方特待生になることができ、とても嬉しいです。両方とも、特待生になることができたのは、いつも熱心に指導して下さった先生のおかげです。本当にありがとうございました。

支部長先生より一言 バレーボー部でセッターボーです。信頼もあり、リズムよく書くのは、運動神経の良さですね。二冠おめでとう。

## 継続は力なり



北府支部 中三

宮澤大樹

私は小学一年生から書道を始めました。静かに字を書いていると心が落ち着きます。ご指導いただいている島添先生には丁寧に見ていただき特待生となりることができました。これからも書道を続けていきます。

支部長先生より一言 特待生、高校受験も志望校合格で二重におめでとう。頑張りましたね。立派です!!更なる飛躍を期待です。

今月の優秀作品



△隸書条幅▽ 評 宮本 耕成

恭影 ダイナミックな書きぶり

が紙面を制した。

伯翠 墨量豊かでとても重厚に

書けた秀作。

賢山 全体感、流れ、線質共に

見事である。

悠水 軽快な運筆で、波磔も伸

びやかで魅力的。

賢山 全体感も良い。

壺玉 貫通力のある見事な筆圧。

道幸 基本に忠実に書かれてお

り鍛度の高い作。

葉草 脱稿鮮やかで鋭いタッチ

で書かれている。

道幸 墨痕鮮やかで鋭いタッチ

で書かれている。

葉草 やや小ぶりながら軽快な

墨痕鮮やかで鋭いタッチ

で書かれている。

△通信条幅▽ 評 長谷川石心

和泉耀光 全体感よく出来た作。線質も切れがある。

湯本香窓 文字の大きさが効果的に振

幅のある秀作。

三浦徑石 強さ、大胆さ、紙面を庄

する。

調高い隸書作品。

評 久保 妍山

採花 朴訥な線で大らかにまと

め上げて大佳。

泰慧 思い切った墨色の変化で

流れを見せて佳。

谿曄 文字の大きさが効果的に振

幅のある秀作。

基本課題

評 露崎 玄峯

我獨頑 我獨頑 我獨頑 我獨頑

似鄙

秀馬

似鄙

崩山

似鄙

光歩

似鄙

一

在震 在震 在震 在震

印

在震 在震 在震 在震

小野

在震 在震 在震 在震

清季

在震 在震 在震 在震

秀峰

外之孔之王神懷孔

秀英

懷孔王神

清季

懷高堆柏聰

印

外之孔之王神懷孔

秀英

懷孔王神懷孔

秀英

懷高堆柏聰

秀峰

夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若

柏心 師範 吉池深年

夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若

伊奈 師範 淡見康輔

夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若

岐阜 師範 佐子

夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若夫性與教焉若

松井 師範 長江留草

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

秀 孝 康 採 陶 玄 望 素

硯 成 太 霞 華 小 花

霞 光 劍 秀

古典研究  
師範部

△楷書▽

評 萩田 光山

嚴しい線で力強さを前面に打ち出して佳。  
菖 菖の含み方がよく、全体に味わいあり。  
苑 長い線が効果的で紙面を支配して見事。  
太 一 大小長短をつけた良きまとめあげた秀作。  
峰 心がちりと搖るぎない線で生彩ある作。

古典研究  
評 二瓶 嶽風

落ち着き共大佳。  
華 線に強さがあり、緊張感が心地よい。  
春 線に伸びがあり、特に横画が印象的。  
舟 線質の厳しさの中に、優しさと甘さあり。  
緹 緹の流れに貫通性があり、堂々とした作。  
庭 コンパクトによくまとまって秀逸な作。

麗 墨量豊かで、線に伸びのある秀作。  
山 ひきしまった形、切れ味見事。  
紗 位置大きさ良。貫通力があり明るい作品。  
泉 潤渴をうまく使い、後半で一気に伸びた。

研究課題  
評 寺尾 碩雲

墨量豊かで、線に伸びのある秀作。  
山 ひきしまった形、切れ味見事。  
紗 位置大きさ良。貫通力があり明るい作品。  
泉 潤渴をうまく使い、後半で一気に伸びた。



△仮名▽

評 樋口 玄山

学生部

評 二瓶 嶽風

人生感

人生感

豊かな

豊かな

意気

意気

知識

知識

現代

現代

切手

切手

社会

社会

集め

集め

過程

生きる

休み

意気

意気

豊かな

知識

豊かな

結果

生きる

休み

意気

意気

知識

知識

題

はな

や思ひ

集め

字

はな

や思ひ

集め

このページに掲載された人には書象会より記念の  
筆をさし上げます。

半紙隨意

評 西野 江月

さらら 伸びやかな線質で形の整った堂々たる作。  
彩音 筆づかいよく、キリッと引きました。  
弘美 一点一画をていねいに形よく書きました。  
香花 「とめ」もしっかりと引きかけました。

寺原莉央 大きく元気よくのびのびと書けました。  
あやめ 心をこめてしっかりとはっきりかけました。  
吉川らん 形よく、位置よくすっきりと書いた。  
宮本俐沙 のびのびとした線で書いていて氣持良い。  
あられ 太さ、形ともによくどうどうとした作。  
龍之介 大きく元気よくのびのびと書けました。  
あやめ 心をこめてしっかりとはっきりかけました。

鈴木 恋 心をこめて眞面目に確実に書いて良い。  
鈴菜 ふっくらした線で温かさを感じる作。  
橋本望美 注意深くてていねいに書いて好感が持てる。  
池田華音 気持を切らさずに最後まで書き上げた。  
こと 葉 どこまでも力を抜かない集中力はみごと。  
美来 始筆、終筆が正確で基本の身に着いた作。  
青柳佑奈 ゆっくりとした筆はこびであたたかい作。  
横澤未悠 一點一画しっかりと書いた明るい作品。  
ことり 一生けんめいていねいさを心がけてよい。  
青山穂香 ゆっくりとした筆はこびであたたかい作。  
吉川らん 形よく、位置よくすっきりと書いた。  
宮本俐沙 のびのびとした線で書いていて氣持良い。  
あられ 太さ、形ともによくどうどうとした作。  
龍之介 大きく元気よくのびのびと書けました。  
あやめ 心をこめてしっかりとはっきりかけました。



人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感	人生感
意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣	意氣
中二 小森 朱里	中二 山内 菜摘	中二 水野彩音	中二 健樹	中三 石井愛莉	中二 大塚なつき	中二 上尾 楓子	中二 聖 中三 宮下 美羽	中二 船橋 中三 高津真衣子	中二 意氣	中二 秀隆	中二 毛
現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会	現代社会
知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識	知識
中一 準六糸 大石優里香	中一 上田 敬太郎	中一 小林美穂	中一 成	中一 島内里菜	中一 七段 真知	中一 みのり	中一 持ノ富永 千晴	中一 花帆	中一 志摩	中一 正	中二 正墨
社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代	社会現代
八潮	雅城	彩筆	北府	竹華	宮地	名東	華雪	珠紅	李光	芙五	華聖
八潮	八潮	雅城	北府	光丘	宮地	名東	志摩	船橋	船橋	水代	霞墨
正盛	正盛	正盛	土筆	竹華	宮地	高社	秀雪	李光	李光	名東	和蓮
香奈実	香奈實	香奈實	伊藤	伊藤	伊藤	中嶋	富士	珠紅	珠紅	水代	花蓮
香奈实	香奈實	香奈實	井副	井副	井副	山中	秀雪	珠紅	珠紅	高津	聖
飯島	飯島	飯島	岩居	岩居	岩居	中嶋	愛雪	船橋	船橋	真虹	霞
正盛	正盛	正盛	大久保	大久保	大久保	渡辺	玉木	松原	松原	末田	和
香奈実	香奈實	香奈實	葉菜	葉菜	葉菜	杉本	島内	森田	森田	大和田	墨
			和貴子	和貴子	和貴子	桂川	丸山	大石優里香	大石優里香	高津	聖
			菜摘	菜摘	菜摘	晴花	みのり	美紀	美紀	真衣子	楓子
			桃香	桃香	桃香	陽奈	彩奈	一実	一実	美羽	朱里
			和貴子	和貴子	和貴子	春花	里菜	千晴	千晴	愛莉	彩夏
			葉菜	葉菜	葉菜	花帆	桂川	美成	美成	秀隆	楓子
			葉菜	葉菜	葉菜	花帆	晴花	美雅	美雅	美羽	毛

〔毛  
墨  
筆〕

〔小森  
朱里〕

〔美墨  
彩夏〕

〔丸簪  
楓子〕

〔大塔な  
つき〕

〔竹村  
華聖〕

〔平田  
華聖〕

〔山内  
華聖〕

〔大和田  
華聖〕

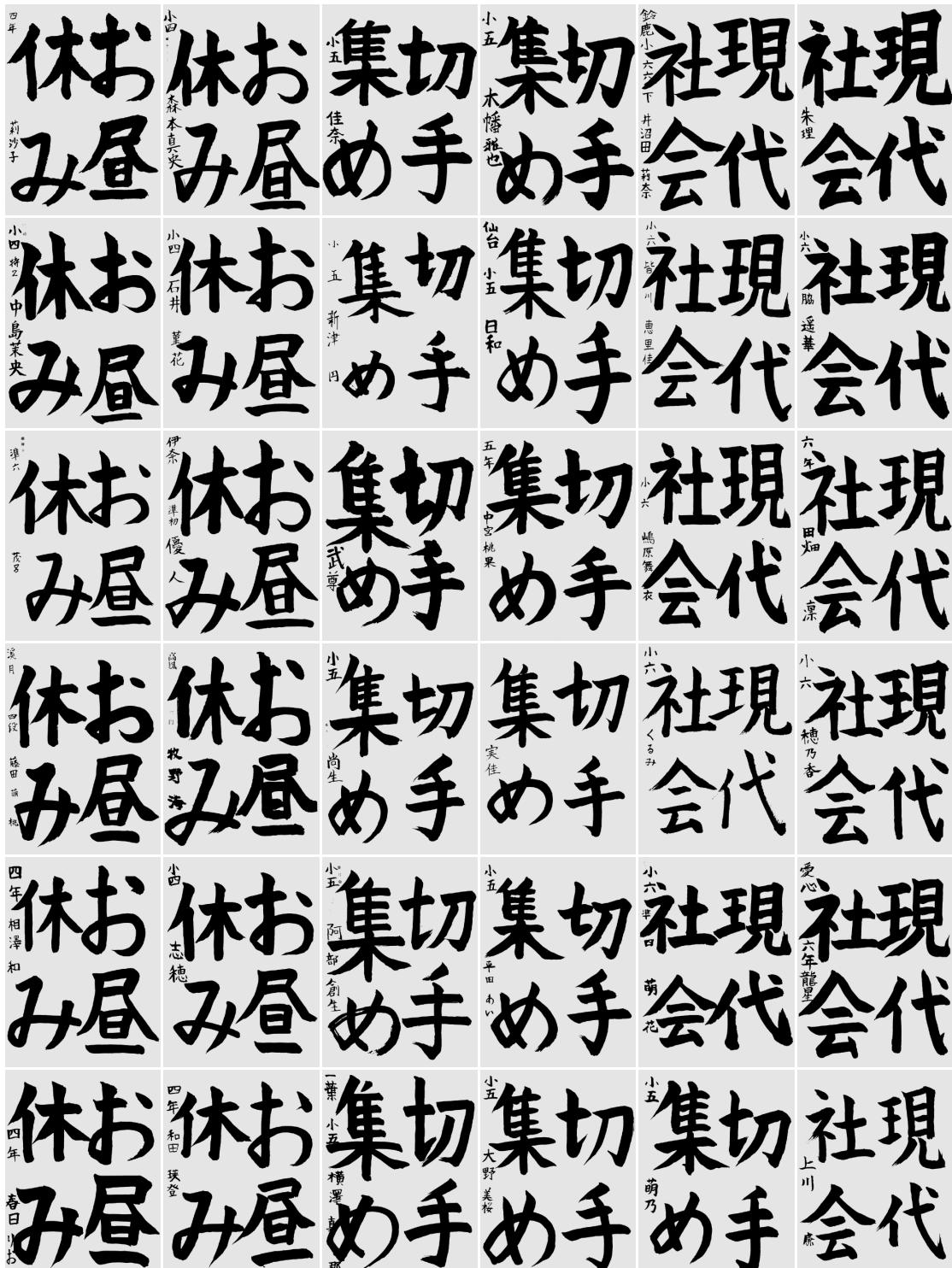
〔高津  
華聖〕

〔美紀  
華聖〕

〔美紀  
華聖〕

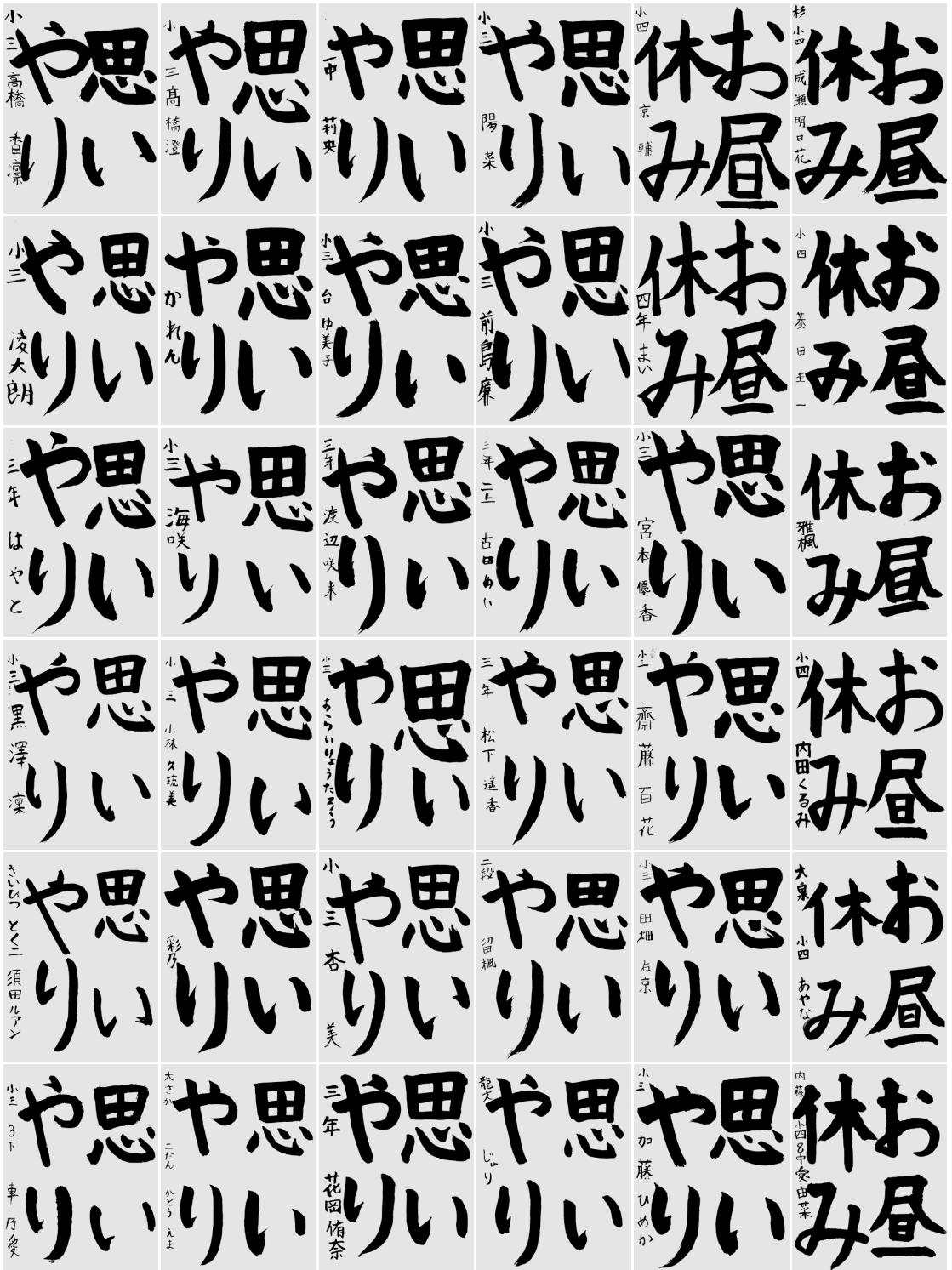
〔美紀  
華聖〕

〔美紀  
華聖〕



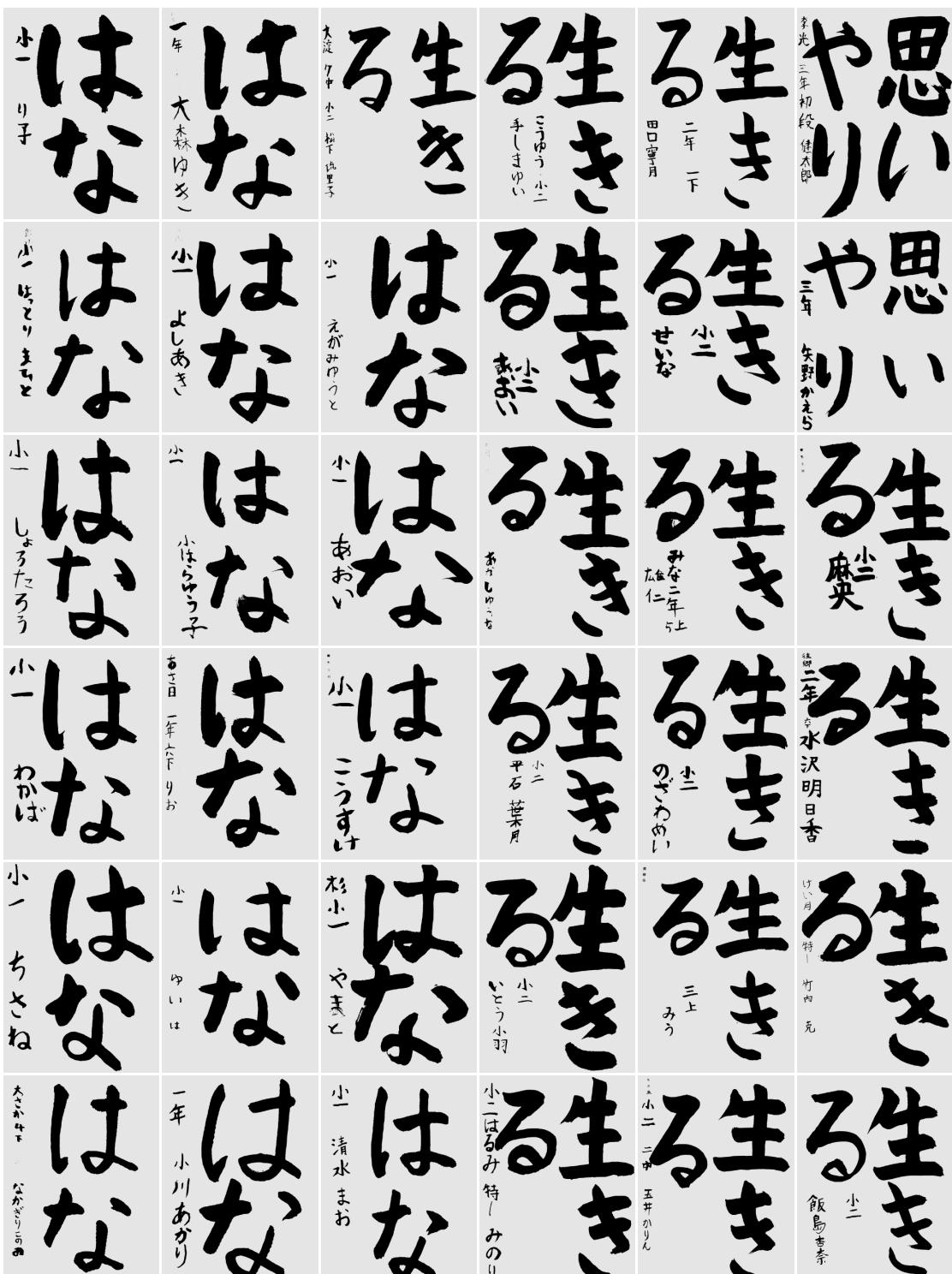
小四  
 湊大溪月英二曉華黃華シ一高風光丘伊奈久喜華葉月一葉  
 小五  
 佐々木日和佐々木和田横澤阿部山田新津北島平山中宮佳美櫻  
 小六  
 真嶋木幡雅也大月くるみ嶋原舞衣稻田萌花  
 小七  
 龍文有象大田玄嶽愛心一鈴鹿若竹綾華  
 小八  
 田沼脇永沼穂乃香田畠上川廉  
 小九  
 朱理遙華龍星莉奈  
 小十  
 田沼脇永沼穂乃香田畠上川廉

小四  
 大田玄嶽愛心一鈴鹿若竹綾華  
 小五  
 田沼脇永沼穂乃香田畠上川廉  
 小六  
 朱理遙華龍星莉奈  
 小七  
 田沼脇永沼穂乃香田畠上川廉  
 小八  
 朱理遙華龍星莉奈  
 小九  
 田沼脇永沼穂乃香田畠上川廉  
 小十  
 朱理遙華龍星莉奈



[小三]

宝春	彩筆	華雪	書之	蓮田	照澤	大阪	成城	若竹	若郷	松戸	虹苑	湊	新城	有虹	峰	皓花	美苑	峰	中央	若宮	須坂	たけ	前島	吉田	田畑	山愛
車	須田	黒澤	永峰	井上	高橋	高橋	中島	齊藤	竹島	高橋	花岡	時田	荒井	瓜生	鈴木	龍文	有象	練馬	大象	大象	内藤	内藤	内藤	秀雪	長谷川	杉長寿
乃愛	ルアン	凜	凌大朗	勇斗	江真	香凜	海咲	華恋	杏美	脩奈	澄	俊太郎	優美子	莉央	優香	百合	優香	百合	重原	手塚	渡辺	渡辺	京輔	舞	成瀬明日花	



李光 源創 鎌田健太郎  
〔小二〕 矢野佳恵良

華雪 往郷 鴨原 鳴原  
水澤明日香 麻央 克  
溪月 竹内 杏奈  
飯島 飯島吉泰  
有穂 美五 豊五  
皓花 玄黙 大阪  
硯扇 美菜 茜  
松聲 神奈  
倭 朝日  
一絵 青雲  
虹友 純心  
守 神奈  
玉井 喬  
手島 高社  
佐藤 明石  
明石 奥田  
由結 平石  
葉月 鈴島  
小羽 月  
香凜 岸  
葵 岛貴  
大翔 清水  
麻央 松島  
幸助 大森  
葵 前田  
優音 小川  
喜 藤木  
由 岩瀬  
葉 明月  
葵 結葉  
仁 真仁  
大翔 捷太郎  
幸 太郎  
葵 真仁  
大翔 千咲  
葵 中桐  
音 このみ

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  高 村 美 月
---	--	--	--------------------------------------	---

がまき人間を救済するものアミン桂  
一ツは文學であり、二つは藝術であり  
三つは宗教と云ふことをあります。小林

一ツは文學であり、二つは藝術であり

三つは宗教と云ふことをあります。小林  
一ツは文學であり、二つは藝術であり  
三つは宗教と云ふことをあります。小林

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  大 坂 実 咲
---	--	--	--------------------------------------	---

ねば玉の辰の更けや小は久  
木を少く傳子河原に千鳥

（ は唱へ一 潟星二歌 惠美子  
に誇れる教育です。華雲支部 中三特待

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  名 廣 田 あ か り
---	--	--	--------------------------------------	---

日本の学校では子供が自分達の  
教室を掃除します。その姿は世界

に誇れる教育です。華雲支部 中三特待  
松井 佑茉

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  若 山 陽 菜
---	--	--	--------------------------------------	---

日本の学校では子供が自分達の  
教室を掃除します。その姿は世界

に誇れる教育です。華雲支部 中三特待  
近藤帆波美

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  若 山 陽 菜
---	--	--	--------------------------------------	---

す 花 春 の 雨 だ 。 ぬ や う さ し く	て き だ 。 か じ 原 あ や か づ く	花 の 雨 を が 。ぬ や う さ し く	春 の 雨 が な ま い く	日本 の 学 校 で は、 子 供 が 自 分 達 の 教 室 を 掃 除 し ま す。 そ の 姿 は 世 界 に 誇 れ る 教 育 で す。  若 山 陽 菜
---	--	--	--------------------------------------	---

日本の学校では子供が自分達の  
教室を掃除します。その姿は世界

に誇れる教育です。華雲支部 中三特待  
近藤帆波美

## 競書成績

飯站土磯笠硯志志志国半巍礪北香草菴草座杉高高樂倭巍京玄紅巍巍巍巍玄千志草菴大竹城杉岐伊柏瀬文大桺 田翠曜迫原 摩摩摩府田山辺府 吉風風書 山都默雪山山山山模曲摩 書阪華彩 阜奈心戸象森師楷師 秀秀 成静蘭葉泰観道未聴生景翠葉千植翠翠曉有惊澄綠小彩頬紅茜霞江霞翠靜楊翠笑 楓貞秀孝康採陶玄望素範書範 夜 実舞 華翠月草仙心幸央月仙城山苑景子紗笙月汀希花江水子楓山敬草菖茜泉法志舟雅子 花松庭子絹舟華華春州
美湊折三国国青笠玄小玄自杉玄玄央桺足八美一文文有蒼蒼蒼玄玄自飯葉長静静皓八茅美土妻玄静美白八上上 五原池府雲原原嶽平模產月黙黙黙森羽南蓉路化象穹穹樺樺產田月野 花湖野苑筆科成菜山戶里里 秀秀秀 汀妙柏溪雅景竹泰泰采杠煙和杉光真守泉劍久希壺智節曲琴理秀菖統小清成和秀静秀玲皓汲峰沙煙惜穆竹霽照光陽 美紀
霄仙園風華草虹舟城葉華山春容鈔意道禾山惠紅玉園華子節花麗風華楓遠苑子靜香峰秀花月弦雪光春舟鷗苑節扇映仙 竹霞霞霞霞霞霞霞霞霞大華華華晏壽書映奈若相須南瀨瀨小小中東絹伊平上玄產杉杉玄瑞央新芙八浅淺 華墨墨墨墨 阪雪雪雪墨台集心華竹模坂墨戸戸光光野陽丘錐成尾心吉 横样 城五戸間間 秀秀 淳溪雪晨夕京遊珠幸裕靜朗靜靜靜靜靜靜靜靜靜靜靜 駒胡華華華泰美雨映俗恭敦教越香白光小肖千象玉佑康玄高明香名齊敦靈玄誘容 一霞霞堂霞江心蘭紀静秀仙思惠琇梓映煌苑慧悠虹祥子月子燐山夢羽鍼琇榮静月翠子仙穂苑庭光琳芳花子登灘峯光 玄玄玄美美美玄書書右右秀秀信雅雅右右美美美静央六茅八八八美玄茅若玄松大大大茜茜皓皓皓皓 耀耀耀菜菜菜成之之文文雪雪州 文文文苑苑苑 郡野潮潮潮苑成野野竹樺 象象象象 花花花 燐燐燐 杏光終香紗華舟翠逕美桜仙悠奈子染映菜葉琴弓麗桜美香月子子み月月泉苑道豊心華子光月苑果沙沙と子子翠子子香 巍巍巍瀨瀨瀨小小小大瀨瀨大紅杉葉巍葉巍葉土北北香華草草紅江北北北北沙港港磯磯磯磯磯志北北磯雅雅 山山戸戸 信苑恭心典繁光光光柔竹散紅靜晴心松小雨晨葉鈴隼寂藤 積翠翠翠紅紅仙伶友傾三蓉花窓窓葉葉葉葉葉葉志凌恭葉雅雅泰 翠心影鈴子德穗搖硯風軒心玉柳章沙花沙映香雪影華山翠子 羊陽桐真波彩翠那美山子翠羊真峰心芳梢涛紫園明保翠妻楓香春泉 信長長長長長長靜遊葉葉葉長長長花葉光光玄葉葉葉葉遊志志志土土土半富高高大志志志 砥長飯飯富小霧妻巍葉瀨瀨 大野野野野野野 月月月野野野野月丘丘獄獄月月月 摩摩摩筆筆田土風風泉摩摩摩 寿田田土光訪料山書戸戸 梓靜杏靜恒靜晃靜遊琴真啓靜靜靜翠壺規裕蕙美弘壺遊涼靜香光あ彩桂美清祥萌聽雪清貞真麻桜完秋光舒春溪苑一喜 佐 梨 す か 美 虹千枝靜洲靜靜淑花泉三子子琳望邦唱花水子葉花子子東川嘉華苑宛那翠穗風仙泉舟園子花理子玉碩代綾山清西令風春 華華華華華春一玄泉珠蒼蒼蒼有玄玄玄玄笠春春瑞瑞善善玄玄玄富富富富富富富富富富富富富富富富富富 雪雪雪雪雪玖點会紅穹穹穹象嶽嶽嶽嶽嶽原玖玖祥祥祥祥隣隣隣隣嶽嶽嶽嶽貴貴松松貴貴祥祥祥祥野野 華華華華華節花奏初珠菖少妍妍愛清怜文悦英陽泰麗チ恒名名名詠詠双士葵李典天天明訓華名名名名寿鳳靜松皓秀静要文富玉 逕風馨蓮芯真天絵泉遊月華龍象麗葉葉子葉子凌湖ヨ紹想志李葉蒼葉葉葉子苑榮美子英绣琴柏松靜吟敬韻靜華澄竹靜 虹塙桜若春 杉昭墨壽美美美 央恵飯岡東東瀨大大小東東東今墨磯磯磯葉樂樂巍巍瀨瀨華華帶帶磯磯長長高有有華華 友尻花花鷺鳳 島洋台墨墨墨 川山谷陽陽戸阪阪光陽陽井心辺辺書書書戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸 虹幸春艶由春幹無清な昭都哲照美桂惠通硯仁友珠珠光千感見祥武翠葉葉葉美成紫茜美友草華華奥久和葉汪峻靜煌加祥華華 洋光美子希風雨双苑美子光子子雪影子明苑華松慾桜心紹己春溪優采暁西袖代英麗梅竹慶紋泉子子徑靜信香代節聲駿 中備中備綾縷瑞瑞小石石玄善杉杉杉杉杉游游有有有文學樂東杉杉書書書產産映映映奈奈源書書長長寿芙蓉產產純神甲東 野後野後華華祥祥平峯嶽隣月月月月月月月象象象象化書書 集集集集吉吉吉心心華華集集寿寿壽台一 吉吉心奈府和 肖菖栄佐菖久麻知名芳瑠八芳詠杉杉杉健響直美節不有光清幸江採龍谿愛谿テ青香萌映映由善澄谿壽壽壽訪天陽秋高靜懃琴 代 哭 重 ル 美 華朋香子紀蕙衣季扇月月月葉汀游惠理仁子子光苑同美達節泉風花雲暉鶴祥子松枝禾芳笙穗子子子山敬雅泉翠虹麗花子泉水子 柏柏柏御御若京京京京相相相淺淺淺產富八八長長映映京京京京長淺淺京京京京東東若御御京京京京京京漸汀麗 心心心牧牧竹都都都都都模模間間間古城貴貴戸戸翠翠心心都都都都都壽壽間間都都都都光光光竹牧牧都都都都都都都 華蓮鑑貞耕美博洋照信初美韶愛湖清摩天陽彩惠秀壽映映悠邦良壽寿朋祥明和禮邦體千道欣豐貞雅壽絢津典佳初匡照弦公み芳 枝 代 す 峰舟聲洞月山楓楓楓江子泉光泉光紀舟景香泉光蘭夕華楓楓香幸宛映美代子子子月子苑幸雅楓楓香幸楓楓春照子子江 松松玄玄新新新新新玄岐石白白松松櫻石上上上松平平平若柏 紅有 彦 松文玄柏柏 惠四四玄秋柏須須須御東柏 南南心心城城城城心心阜烟烟岡岡南南森森尾尾戸戸成成成成鄉心 竹象 根 風化成心心心 川谷谷成川心坂坂坂坂牧光心 貴 竹玄陽優香鳳雪蒼勇幸翔翔朋香志朝俊暉翔康惠清久多よ雅星洞益穗蒼晴 百千舟素芳頤惠文杏盈美晃翠桃智智貞ふ楠 峰 登 美万ズ 奈 勇 美 峯勝江子織雪川峯峯男哲鶴扇苑花峯山花沙美子美美子子子舟舟亭美峰嶽 合秋龍舟舟舟泉悠果心幸山苑子祥翠真洲竹え舟 錦錦錦素聖彩真泰齊湖勇泉英優明和俱峰美芝肇沈哲星桂桂芳昭白保寶康徑南祥紀隆秀壽節澆流桂桂春天壺里清美菖菖ハ最南 子苑泉雪風嶽紅靜雄放亨山山遠華子子子香亭華子華山紅美富月惠泉子春子石彥月梢雪翠泉翠石溪耀舞海翔彩奈公泉佑伯コ秀流 蒲若若南國國國 浩美真南早景景峯詠久里峰美鶴景美悦碧美タ孝香由澄美千美祥朴明已壺萩千春宏か由と惠朱天佐 梅梅梅太正美冬光惠溥文 子美美美嘉惠智智智智智智智智智智智智智智智智智智智智智智智智 子美花岳苗泉光山舟子絵泉仙苑仙舟子舟砂尋風子子子菊山恵枝桜泉花信子子子子子子子子子子子子子子子子子 玄玄玄玄游大文文文文有春曉美美新新湊湊湊長長富一笠笠笠笠笠笠笠笠笠笠笠笠 翠翠貴絵原原原原原原原原原原原原原原原原原原原原 め芋小淨春亮征惠麗節曉秀久耀紫喜桃壽多啓華汀汀響楓喜美久雅泰睦泰泰泰麻明純瑞千紗志映花 彩富碧真桜香泰玲文 ぐ 美 久 美 恒 紀 み里董山里風光華節麗麗月子花風男子峰子子遙茜紅光子咲穗恵子淨慶子壽咲篁蕙虹竹彩竹雪惠絵雪瑠 香子瑠以蘭織空笙子







秀横産大嵐八八小玄飯秋長玄新碩碩桐サ笠笠美石墨董蒼珠笠大志書八杉水 雪二吉象山潮潮平黙山川寿黙城雲雲生ノ原原二峯洋	信横横横横横小富美八八葉光神若瑞若八八汀錦麗 山森赤齊瀬高山岩大小持紫加酒福小加野阿林寺折 田木田島屋澤村間原本本沢村倉田岡井田部沢藤原澤川村原島谷橋川桃田 希瑞逕千美歌月章瑞香真直朋美馥雅眞葉亜裕節輝芳香光美千良春美娟友
☆☆四 中鈴竹五鋸小大當上湯坂鮎中新臼富川松矢少佐菅金北木楳所五倉高中艶柴段 山森赤齊瀬高山岩大小持紫加酒福小加野阿林寺折 田木田島屋澤村間原本本沢村倉田岡井田部沢藤原澤川村原島谷橋川桃田 希瑞逕千美歌月章瑞香真直朋美馥雅眞葉亜裕節輝芳香光美千良春美娟友	高華峯蕙清満成梁明倉美洋政和朱実和次正絹富琴 ☆☆四 中鈴花桐長久高玄董倭彩一横土石中有橫伊 野野雲象生翠喜社機 筆繪添筆峯央象浜黒 準初段
秀虹華華竹碩霧高 唯唯硯 華横宮富富土秀船中長靜中柏柏杉新松平八優 雪苑雪雪華雲風特心心 雪二地士士筆雪橋央野 央心心 城戸戸成戸生 野野雲象生翠喜社機 筆繪添筆峯央象浜黒	☆☆四 河堀江山馬江佐丸中級古今梅測楓島駒河高鉢甘中金烟林西丸寺武木杉林木榎一岩桜町本高小尾松島水大中猪織川西竹田森湯邊 波田場口藤山本本浪澤上谷津屋野橋鹿中村井昇玲島尾山尾士内本陽見本ノ本井田間草林花田津日本野沢保戸戸島花田晨澤 真介百明悠佳芋原裕 惠裕眞彩あ岳て有真惠友慰子奈紗碩願保日祥子純紀廉康翼江木夢瑠大貴靜文久さ晨紗洋彩恵英真
横神京秋虹玄芳正曉有有宵八笠笠長晝花新名船皓靜横サ若正藏心瀬大華水有長一葉一船大土青赤 晴一一瀬平書杉玄 二奈都川友嶽二桂月象特月戸戸原原原寿集苑城東橋花翠浜シウメ駒桂 和戸戸阪雪代象野絵月絵橋象筆雲石 美葉葉戸戸成集 ○○○○1	横神京秋虹玄芳正曉有有宵八笠笠長晝花新名船皓靜横サ若正藏心瀬大華水有長一葉一船大土青赤 晴一一瀬平書杉玄 二奈都川友嶽二桂月象特月戸戸原原原寿集苑城東橋花翠浜シウメ駒桂 和戸戸阪雪代象野絵月絵橋象筆雲石 美葉葉戸戸成集 ○○○○1
杉山渡松淹正鈴川平武大級長江中高千藤小五川秋大岡成清石村小宮馬西安石若山は油深村武清澤井徳宮安佐中佐磯林佐佐鈴古 本崎近村瀬木本端賀内澤 山戸戸野田山月鍋元橋田明水橋山柴下場沢藤山本常科谷石藤水崎原永下達々里藤村梨藤嶋木林 蘆美由希響典盛由智輝 俊恵知美幸寿田女麻快岳み淑川美直美裕享由ち照魁文良ま采愛豊梨春如曉木亮里ち香信大順葵	中皓晴志玄一杉玄葉秀美峰碩瑞若玄新小八八京秀靜優杉 高玄大玄大優大横八観横磯大湊有彩春玄長千船八駿中中若泰秦 央花聲美摩黙路月獄月雪二 雲祥松心城平城戸戸都雪翠生 1風黙樸内生田浜浜 浜辺内 象筆玖默野曲橋南墨野野松野 ○○○○1
平岡早渕鶴影一林松茶篠藤山土高加赤重岸黒小田小井伊大前級佐野浅山宇山南恩木遠酒中山近金金豊中小仁山西萩佐谷田栗 野田川岡飼山糸普澤崎田下屋村藤岡木松野崎笠名森上勢崎田 孝村野本田田野村藤井川岡藤井澤島西山木本島原々遙中飯 彩さ賢和浜ひ子裕修泰実果 美歩香美千澄紗原部昌典崎瞳百 美真祥恵川里晨梓早晨尚育礼節並佳美智直陽詩美惠木華和原 霞葉桜若有長四花新横美笠中若土中平小土 勝勝玄新央大横游飯新春一秀若泰秦柏東美笠柏高有千晏玄 傑大宝空游四伊若 墨月森松虹寿谷苑城二二原野松筆成平筆3木木燐星 阪二墨山城駿路松野心光ニ芳原芳社穗曲墨黙2 阪心春墨谷墨松 ○○○○2	関鈴奥古坂浅久北松谷篠藤乘山中空山級後田藤石テ太道長掘神木瀬大三小合星大古金山笛植安後武級赤田榎森赤竹田須 優木原賀豆保村原島崎の木田下谷島中閑 藤部林川イ田三竹静林元川井田松杉宮真島田子口川草藤藤井 堀中本尚井下中長 加敏し仁子と田す美翠立井果八美美香真郁 豊恭孝清ビ恵豊雅子桃香多宣由テ千詔由さ和哲有悠み由大美 裁愛友美惠患蔽麻 静石 大美サ柏山峰八有宝美絹新小千玄一玄玄大大城城宝大柏帶玄八有 勝美小沙巍長柏帶玄霞書土李竹茅八杉大一一長 峯5淀二ン芳愛 南穂春咲丘城平曲嶽葉心燐手阪阪彩彩春淀芳中心象潮4木菜平羅山野芳中樸墨之筆光華野戸 田路路野 ○○○○2
五大級寺島丸黒大鉢中穴小越木桑龜煙松小南青久坂林日平筆松小田井仁吉級山富藤富村寺成山伊北岸田相伊飯小斎別木佐鈴相 味屋 本部子岩楓木野山霜川山田山澤林條木松上郁置田宝下岩名上平田 岐井並井島澤田藤村波中葉東嶋山藤府村典藤木本 紅ひ 三幸い完茂透幸縁優裕太真西み茂千成古松祐リ子倫真好百井田美賀幸 晶夕同則禪ゆあ千晴勇美靖伶洋久勝典喚美 こ花若小 勝大大中小美杉長京秋東四暁沙董大杉若櫻山杉書石磯 有大大大富茅練千伊み須須錦柏国華玄松若帶八玄竹 の雲竹平7木淀淀勢平一咲 寿都川陽谷月羅 手 松森愛 集峯辺6象阪阪土野馬曲墨な坂坂黄芳府府雪耀 竹中潮耀華 ○○○○○	松寺上羽級中佐中辻橋林若川宮西野林片唐対立藤古增百佐片高門們石級越齊河山鈴小鈴吉唐嶋中青中齊竹保細鷗橋萩清美田藤田 本澤原山 本西西岡本幸杉田澤川沢早山木中川田川野瀬井川橋原井 谷藤端田木池木里澤原村木島藤田谷原立原水患口山崎 綾弘京淳 木和住木裕子強乃三邦草苗記曉塗保美節加司瑞精真文 信雅真由禮あこめ米幸陽薰房美総継恒潔親ミ勝子順夏洋 埼杉杉杉こ笠サ柏八 美大千光葉雅皓珠董杉和瀬瀬松 城自墳堺城芙蓉こ月杉 山玄杉峰玄杉杉杉書秋華一竹美新大杉柏月 玉の原ノ芳南 二田曲丘月 花愈 戸戸聲 玉産玉玉彩二心の8愛燐 横 集川雪路華菜星井芳 ○○○○○
大佐西吉清荒平竹南根向原小川児玉坂鶴金佐奥藤中木大小横長内付早橋高上銀級由清圓鈴堀根長川石市小吉伊監古池野荻増 河藤野田田井出上玉井腰田古々田沢根原村山宮山根野山爪橋田村 水藤木内津南口川村仲澤東物田田原子原由月穀品昌慶 愛知和美由奈光力魚儀鮎木圭和尚ま亞沙山悠桃久瑞宏里智尚和 香滿和君里浩満憩静友井幸奈幸あ患三千君 玄船高霞皓葉嵐李富宮沙沙沙北北北磯草大瀬書倭醜硯伊珠元玄皓横華笠玄高有 玄高有五板 東文曉杉杉富產ヒ崎堺 橋風墨花月山光光土地羅羅府府府辺 阪戸之野 那紅櫻樸花二雪原嶽摩風 組根化月 貴貴吉ま玉玉王 ○○○○○	桑飯唐神坂鉢煙増高坂中高福石佐穴指穴古竹田波前西長鳥小久白芹岡小尾三木倉中高段名 那生阿森渡奥濱大伊塩井真 原田川子子腰木中井橋井山尾島毛藤戸戸屋中申多島村居島居井崎澤藤田谷本橋風美下上大智遥正然とし健涼由舞 美裕哲田翔三美百久幸京美信真綾紗沙千惠羌葉輝満野孝宏正真谷田め冷梗明華恒陽聽ま穂
笠笠美杉 華華華華華新南産六笠芙蓉善玄須相松東芙蓉綾若室宝由櫻足蔵湊六六苑苑 富富正正國柏サササ蒲笠文春光 原原秋 準雪雪雪雪城城祥 吉会原二隣隣獄坂模南陽五華松松春春野森羽 会会 貢貴桂桂府方ソソソ由原原化以丘 □五	笠笠美杉 華華華華華新南産六笠芙蓉善玄須相松東芙蓉綾若室宝由櫻足蔵湊六六苑苑 富富正正國柏サササ蒲笠文春光 原原秋 準雪雪雪雪城城祥 吉会原二隣隣獄坂模南陽五華松松春春野森羽 会会 貢貴桂桂府方ソソソ由原原化以丘 百丸嶋紅段原森鈴小廣田山田陽渡井平藤鈴坂和北戸戸小筒平石岡皆高小大川山山小田布岩松和谷杉阿川小伊屋中松松武高山坂鈴 瀬山田 日本木林中口登辺戸戸井木本東桶根口井野上村川橋管上城本口中田崎田井俊木部田林藤野岡本井木本井木本 雅美純流 華華華華華華江名福原ふ久貴士幸智敦江清麻摩堅康裕籠優恵鉢妙紗美恭藻美瑛藍千美早英と早友香吉芳泰亞恒裕 華若横華横横 横央静秀秀八葉大西董伊伊宮一小麗錦藏八漆聖笠東若京相四東苑美新新新新産游游有玄沙港北北磯杉大大聖 雪竹二雪二四一 雪雪潮月象 山那那地葉川墨黄 南 原光竹都模谷 陽五城城城吉墨墨象黙羅南府府辺 阪阪 小高宮續高熊段高山吉河石吉山田吉增米伊牛字右勝佐徳佐中宮中土岩梅大広花山平志川和水中神木宗中坂吉佐梅友青高大名吉 島橋澤橋柳谷 橋田澤辺川田口村田井山藤丸治田木藤武藤島下島屋下原菅瀬村田野賀本田野村山村形川庭田藤津野木橋村烟池 華太帆満光 光辰光里紜み鈴懐彌光孝和彗流芳鎧梅美彩季や千和みレ美匡敦里世佐彩み春禮友美生清窓津八葉玲羅波典惠 杉宮柏美新珠文有春光北北瀬巍傍横茅横珠晏笠宝桜宝桜 淩神さサ聖龍笠笠神杉書須相柏書産座様蒼有玄玄静長葉靜沙北大 川心五城紅象玖丘府戸山 二野二悠墨原準華春森 龍わん 文原原林 塚集樸研心吉吉森弯象黙黙 野月山羅府阪 □四
真井大茂和内片土姫山鈴尾石須冲萩古小齊半宇吉段広佐花中藤元梶川久志小丸倉茂吉木松酒松遠小林須北中三長刈白長鈴吉熊 下戸谷田田藤山田野木形黒田真野矢平藤田留水 嶺久岡島森山原又保 松山科木田下本井倉峰原佳藤川内神谷間井塚木富野 和坂真尚麻ニ典晨千由代厚民美由華花演蕙知賀広 絵間豪礼美祥節久田織彩隆豐草朝美正桃菜櫻昭連理有真五川倅善佳千慶珠 錦玄伊書京奈新新游墨小和杉倭倭大横横笠紅八笠横書美 東寿横横横土静葉葉葉大静霧竹飯宮檜藏八汀笠笠有玄神 黄 墓墨集集都華城墨洋光 山阪二二原竹潮原二三根台二二筆 月月月象山訪友田地森 南松原原象樸樸	☆☆四 小須木権小梅熊齊浅渡石青竹山大澤森峯楳大鈴森若中持吉瀬須池段板智赤佐佐村渡菊牧芋今新佐岡都百木鈴池極古宮遠濱酒 林江谷田林田藤野辺井木澤田森娥知村田井木下林村田水古藤田垣 澤野藤野邊地野坂井倉々庭竹瀬谷木上口田田藤田井 南錦文光節正勇伊悦晴た由香成淳舟子伊靖凜瑞華真美美安清香理 ふ香峯博江則恵孝陽衣美秀立木青患涼寛し瞭せ米由綾綠和 珠春玄八静松茅八新北磯瀬倭横横横柏書心 水綾若心中八サ青笠芙蓉須野珠珠有美光秀大富晴北倭産名倭杉 帯照八竹静 紅玖獄潮山聲野戸星府辺戸 二二二心集泉景和二代華松和野南ノ雲原二二模坂辺紅紅象苑丘雪象家士美府 吉東中澤潮華 ☆☆三 宮加新小長武小名多細高加石島道室高鎌西段柴島加上土細石関杉平川白櫻鈴石吉小松保小林坂坂渡小竹和小鈴段久小大ボ 内賀井林塚林田久美足利藤原津本三賀橋上沢 田沢藤條屋田山木本木橋井張本坂沼照齊本部礪田仁木田 美野村ツツ藤か く美美倉香ニ則井子雅玲智律岳蘆豊綾登小由 照昌聖ま新美花江め美千淳良絢友真麻美宗子和友美典逕敦昭順 子昌歌ダ竹

□は写真版(昇級しない) ○は昇級(1階級昇級する) ☆は秀作(同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。)

大大李珠曉志磯草杉大杉八八	碩富蒲笠笠玄伊柏松游墨信光八葉曉晚瀨晏中杉靜	帶桐中中八	汀さ有石玄奈柏平浅長新墨象光悠華摩辺
阪 潮潮初雲貴田原原嶽墨心戸墨洋大丘潮月月華戸墨野	山準中生勢野南	松わ象峯樸華心成間翠城洋	☆☆
土古宇林栗鶴関北藤吉片高中鉛段布西染白中長湯青杉周金佐加小紫鳥清安折瑠宮黒段発木川北渋一西丸近杉川菅閑栗横小柳青井田田秀田飼弘川橋川木下本谷日村岐澤木本藤澤久藤澤藤海水藤野崎入田	村原原谷ノ山山藤崎田田本原山林川木雲島川子喜和子芳い煌舞葉美彩 真藍浩紅知喜真莉祥文輝間政美洋真八ち麗み杜祥	朗澄田玲政瀬る桃節翠か千愛智系桂千千	☆☆
横晴若若伊麗優優サ青笠笠石彩書京京秋春秋花小新游文有小小倭華華長一皓長	水花領錦書汀汀笠美伊須若柏八八八蒼静静葉月浜美松松奈墨生生ン雲原原峯峯筆集都都川川苑平城墨化象平光 雪雪野絵花野準代象雲黃泉松松原二墨坂竹心戸戸戸穹	月	☆☆
織佐加谷黑折宇大松大倉高西大小中渡小松坂五岸木赤川吉當浅大伊仁烟麻藤油段藤本松浅及坂林池佐唐本池寺ア工谷木林赤村戸々藤遥田岡田曾科野鷗波津山辺森村本月内久田間野野藤平昇昇井科牧間川沼川口田田藤澤多田尾保藤地村玲澤石村辰木和華菜琴川瞳真根万美洋千久田由昌希香澄日惠香界月文知り子礼有ま 実あたし田翠明綾組裕米千晶春正和春香奈み愛	八有横小伊中中信嵐霧横花野集五心墨 芳ン松松花特木楓楓 月之阪戸五城路路原二祥野野貴喜生わ駒雪雪田月原月特戸象浜平奈央央大山訪浜	○○○	○○○
岡中佐原丸合田馬山余小加岡級山杉杉水梅嶋石石磯齋松一瀬三鉛作豊佐石中櫻村小馬村江別長小平級江多清山林竹西伊鋸丸森田西嶋澤山葉中場口座田藤田崎日本本澤野原田村藤下糸川沢木田々井谷本山柴場上田府山沢賀 戸田水中か花村藤屋山農さ智大朱碩詔尊享有若歩み晶仁理真貞こ思照ち百永ひ多由盛知幸木恵美直紀百祐典優俊紫 恵比川真お彩紗均千皇英	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
暁長書美柏柏サ若若皓 勝汀汀董覩葉書大瀬美新一一笠芙瑞中中富久優さ若華華大宵笠晚 八有横小伊中中信嵐霧横花野集五心墨 芳ン松松花特木楓楓 月之阪戸五城路路原二祥野野貴喜生わ駒雪雪田月原月特戸象浜平奈央央大山訪浜	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
唐古千長西萩藤鉆黒寺衆谷級山中櫻森赤山新清西金有柴野野田田甘前滝相谷田母級桜園青武馬矢正田木鉛細長小松篠馬相大木田田谷山原林原本岩島田脇 田田谷尚堀本井水錦澤田崎田村名島中田瀬葉涼中長 井規木田場部木中村木田竹笠本田場木場暁和幸川濡ミ孝節敏完沙八立 高希あ美裁文佐麻節佳菊修三眞部静恵百鬱靖奈愛麻 晨梨順弓い葉典惠節香知雅原孝泰悠美渚	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
汀華聖 唯勝八長新花四東神宝麗柏柏柏サ美大玄中笠大一書書中大李美八晴大石八華玄小玄中正若富 勝大八新笠大草ア珠松雪 4心木戸翠城苑谷光奈春墨芳芳房ンニ内脇勢原定路雪之央象光苑潮美阪峯潮雪心平耀央桂松士 3木戸阪戸原象 煙紅	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
高小宮級今後小北久星山小西金萩成丸大山島辻篠松渡森岸平五飯直田酒久林大仁大井藤青金川東鉛級田太金新所澤立藤柳伸下 浪藤山林鍋村保真崎霜島子原澤子島本津岡之下部多波野島塚 口岡保郁屋平川上井木井端岡木 部田見倉給崎川山農明井藍 裕豊久夢麻す田由美優美哲千衛いさ幸貴啓井百花な勇彩千亮美順優祐子ひ賀め美京清望由香禮 恭患純朋美梨保夏	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
華華帯玄横暁有富玄汀瀬大柏国須京杉静茅覩正汀八書玄 峰宝若中中錦八柏美新赤秋須長春皓大 玄千千高沙瀬大秀秀帶華城雪雪中樸二月象士獄松戸阪芳府坂都 野 桂松潮集樸5 春松野野黄南芳二城石川坂寿玖花象 煙曲曲風羅戸阪雪雪中	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
佐山田古松早越岩松里中河竹保青西長五小木宮岡恩高浅級山筆古北荻菊山小鳥桑市中中柴木西五朔橋安畠佐富林山田井山太平藤田名林崎田谷野澤根端田木谷川南味池下寄田橋野下宝原原池本岩部山下村島寿元岡島上立藤山季崎梨田川上古田明朋た葵翠賀衆葉慕み尚真穂徳邦真祥 果好仁佳惠良詩井幸真如友房雅准干千穂親由み美則真あ夏真	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
和秀聖若国華杉 唯中高高山山崎崎新大大有雅皓富磯水千峰玄星玄石崎 帶華大八笠沙玄富大秋東新芙一若華秀梓大書勝華雪 竹府雪 8心野社社愛玉玉城淀淀象 花土辺代曲 煙樺峯玉7中雪手南原羅嶽士淀川陽城二葉松雪森阪集6木雪	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
奥松桜清細星根級古桜松笛大佐長横神佐中石玉坂河酒柴吉鉛清根伊門大級美佐藤南荒对松高寺野林重藤中增勝勝奥坂石級中鳴田井 水野野津 本井田川楓井根山林々西田井腰野井田木里木本藤原山 惠藤田真井中澤橋本沢早松田里野又岡原上川 本原圭真蘭勝恒華道 惠翼大悠瑞桃悠桃木住由カ儀有尚め君満和千文沙 子牙美知昌睦茂真三草苗干実亮加瑞玲じ梨静和潔	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
秀茜葉葉翠新浅飯美美相京京ササササ桐水榉櫻 唯大小草 秀李珠千大霞光秀崎玄有梯有柏富サ崎崎愛若小美杉杉雪 月月城間山墨模模都都シシシ模生代森森五硬 心阪平 雪光悠井曲墨丘雲玉樺虹森貴芳貴ン玉心竹平二	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
河佐白笛渡雪笠野吉中木森藤中伊星白高藤小伊段筆 竹濱羽木波大櫻鶴池小閑川河井堀坂百穴濱竹奥平塩真早小橋向吉片辺藤井生辺 原池池村内脇本嶋藤野井草牧穴藤 野田山村古多井本田出優上辺上内香瀬山名田崎山野下山野本井村川里西美芳真川朋恵哲良典と早め木隆素星 聰真淳亞美宣野患鮎奈加友真由里子司緑千愛と慶涼舞宏澤稻美真精	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
六若南杉文紅斜樺字北光秀葉玄城華華杉 東華大瀬玄游美さ富桐笛サ大秀若珠春 大大樂瀬聖六富華華華華北北書会竹 心竹間森心府丘丘雪月嶽彩雪雪 四根雪阪戸黙墨二わ貴生生原ソナソナ雪竹悠次元阪書戸戸会貴雪雪雪雪府府之	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
平仲渡山中大林坂渡山岡有池塩小續勝木段佐金高水中森平瀧伊関川角松柳石梗半横段 田熊千白波久布山馬中宮小小小佐木堀井宗部本内前佳井部本規田田棚橋又村 藤澤山野川島野藤根井崎田川川 田山中野木川多保田口場野林枝島野藤元成ふ根福明廣美湖連蒼美由梨菊和み貞華涼曉 紅友耀美圭美花喜涛雅泰香勝絃月知京 滿珠良弘野田恭藍華由華華華内沙仙美	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
若珠一華倭久 大瀬さ八桜伊伊伊書須相玄野飯光飯志城華麗聖 濑倭倭倭瀬紅さ春有有富八桐玄笠笠大相須光葉静李華聖 呂懸絵畫 喜準阪戸南森奈奈墨集坂模模黙近山丘田摩影雪墨 三戸 戸雪わわわ玖象家貢南生模原原象模坂丘月 光雪	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
佐林柳鈴森中段大加清済百黒林湯熊北松上榎田鈴吉森平村折宮段 水沖慎小石吉浜丸姫島石川鈴高有安兎田大木加牧佐坂土段川藤秀沼木知谷 井藤水谷瀬田か澤田堀原本木井本上笠下 野真田鶴黒良野山野田田崎木草賀藤玉村官下藤野藤井屋梗子秀隆子美 濃智桐原涼菜お真勇智正章潤裕草清成真秀祐琴藍 勝由蜻典民紅挑千美由昭し木蒼睦泰憲レ美政衣竹京惠	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
船玄瑞 勝大溪中瑞花心花有サササ若葉蘿志信書城華巍遊 有富若笠石櫻源新竹若信華華華太名船 有さ源玄八葉秀秀橋 黙祥初木田月勢祥と象象シシシ竹竹月山摩大之彩雪山墨準象貴松原峯森創城華宮大雪雪雪雪阪東橋二象わ創心潮月雪雪雪	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
☆ 飯福北段後別中川名西本宮余松石佐小平鋸福佐大日太高木段宗和加百西宮中志栗竹宮勝佐福大佐宮和渡段土棍岡小鉛渡保森勝田増川 藤府川原 汗間田座田橋藤林野屋岡久元置古橋村 形田藤瀬鷗嶋村賀原前澤又藤山川藤田仁上 田原江山木込坂み岡裕名 豊典歩田由あ由若真美舞早琴千真間浩倫夏恭友 美藍昌雅洋暉澄世幸使万瑞汾奈め明由敦千 晨節祐光彩陽美玲	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
新蒼長船雅華勝 蒼巍秀華大瀬和中八嵐秀船白聖游玄石水名書京中飯秋大 華大華瀬一若桐玄國杉長中八中嵐中雅信城穹野橋橋 花雪特木穹山雪雪阪戸 央潮山雪橋山 墓模代峯都集野山川阪準雪阪戸路駒人樸木 翠央潮央央大	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
戸水井小中清清西江級粟栗田若櫻太磯松平中増大木植青浅藤杉林佐渡風湯松片段谷大山林一森木島前真小西小竹增金吉萩田野上林村水永岡田 崎林田川山谷田村本野川井場橋原木野牧崎航嶋邊田本村岡 涼村田梨糸真村津山下林村澤花井田原碧み真富友優雅結百 晶美翠緩魁あ恵ち孝彩美久渚岳紗浩由祥實翠平大由幸瑞希舞 奈波朋香ひ花澄貴景と夢紗彩美弥望雅	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
若山山 若葉秀書皓飯霧若書宵玄巍瀬大華華若秀秀游 央玄若若ささ若神源秋游船晴静瀬長晴倭 唯勝唯大瀬神若峰玄若美松愛2竹月雪雪之花田訪松集月樸山戸阪雪竹雪墨1 心松松わわ松林創木墨橋美 戸野美 特心木心阪戸奈竹	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
東佐大級土嶋甘河石岡三都須小佐川峯中田仁馬戸中田木中篠赤級西真谷加村丸小酒嶋坂神仁坂五伊平渉赤級今田古石安山上庄加藤岡も根 屋野中辺原田和竹長山田田村根中平場屋田井鶴島遙藤山山田井未木本木味藤林岡堀 浪部木本藤野下司藤田香瑞茂 瞳こ惠真幸み実舒麻田堂麗伊尚愛り悠彰希泰惠 斎玄華歩直正由和香雪禮陽友紅道静優裁 裕恭恩照ち美裕朴和実	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
小 勝玄国サ春春峰藏桜小石秋石玄大磯 産葉書美有サ高有純神玄新松杉瀬和の大ダク渓渓渓若 千雅晴飯富有国華巍瀬若芙蓉5木心府シ玖玄森平峯峯樸木手辺4吉月之菜象シシ虹心林樸城 戸 阪阪月月松3曲 美田士象府雪山戸月竹五	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○
藤級中諱杉丸木金鉛上奥山大市菅川久酒級竹鈴岸森近川笛坂佐倉村和萩川藤田大林山吉横酒坐級細原佐小岩上芝艺長須加增渡高井 本訪君元澤木條原中屋原田保井 田木波美藤又杏々科田田原口島森鷗野田江川井田 山口々山野原景谷田藤田会橋京 和珀景い香佳通梅し真友節か佑尚 遷敏希勇節久悠子木豊美彩ミ穂和靜淳子由大生梨八 み佳木校榮紀泉川美富昌明壺	戸田見倉給崎川山農	○○○	○○○

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。









東陽	内藤	下	下	上	上	中
・内藤	・藤	・支	・支	・支	・支	・支
・中野	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・練馬	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・白山	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・柏心	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・蓮田	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・秦野	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・葉月	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・晴美	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・半田	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・光ヶ丘	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・聖	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・ひまわり	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・富貴	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・富士見	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・船橋	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・書之会	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・芙蓉第一	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・芙蓉第二	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・芙蓉第五	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・平成	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・宝春	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・洞	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・松戸	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・三池	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・水代	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・美苑	・支	・支	・支	・支	・支	・支
・美菜	・支	・支	・支	・支	・支	・支





## 書象通信指導規定

書象誌会員は次の規定により、通信指導を受けることができます。

一、指導内容：毎月の本誌競書課題、その他古典学習

一、申し込み方法：下記のいずれかの先生に直接申し込み。返信用封筒を切手貼付の上、同封すること

### ※通信指導費改定

久保妍山	片天風	大澤梢光	藤田光山	荒木扁舟	添削料	手本料
〒0023	〒238-0022	〒376-0013	〒330-0852	〒242-0026	〒359-0046	〒180-0023
武藏野市境南町五-八-九	さいたま市大宮区大成町一-四-九-四	桐生市広沢町七-一六-四	所沢市北所沢町二-三-四-一	山形市小白川町四-一-二〇-一-四	大和市草柳二-二-一-四〇	山形市小白川町四-九-九〇-二-一
杉並区阿佐谷北四-一七-五	杉並区代々木二-四-一-二-一三-四	上田市古里一-五-九-一-九-一〇-一	中野区代々木二-四-一-二-一三-四	高田内墨洋	竹崎玄峯	小瀬霞山
杉並区阿佐谷北四-一七-五	渋谷区代々木二-四-一-二-一三-四	上田市古里一-五-九-一-九-一〇-一	中野区代々木二-四-一-二-一三-四	高田内墨洋	竹崎玄峯	小瀬霞山

### 一、指導の先生

久保妍山	片天風	大澤梢光	藤田光山	荒木扁舟	添削料	手本料
〒0023	〒238-0022	〒376-0013	〒330-0852	〒242-0026	〒359-0046	〒180-0023
武藏野市境南町五-八-九	さいたま市大宮区大成町一-四-九-四	桐生市広沢町七-一六-四	所沢市北所沢町二-三-四-一	山形市小白川町四-一-二〇-一-四	大和市草柳二-二-一-四〇	山形市小白川町四-九-九〇-二-一
杉並区阿佐谷北四-一七-五	杉並区代々木二-四-一-二-一三-四	上田市古里一-五-九-一-九-一〇-一	中野区代々木二-四-一-二-一三-四	高田内墨洋	竹崎玄峯	小瀬霞山
杉並区阿佐谷北四-一七-五	渋谷区代々木二-四-一-二-一三-四	上田市古里一-五-九-一-九-一〇-一	中野区代々木二-四-一-二-一三-四	高田内墨洋	竹崎玄峯	小瀬霞山

## 書象会便り

### ◆第77回謙慎書道会展入賞者発表

三月五日から七日まで標記展公募、評議員の鑑別審査が東京都美術館で開催され、推薦顧問賞、特選謙慎賞、秀逸、褒状等多数の入選者を得ました。また九日の大賞選考会では、

理事の中から厳しい審査を経て、本会からは

梅花賞に一名、春興賞に五名が選ばれました。

受賞者は本誌22、23頁に掲載いたしました。

梅花賞に一名、春興賞に五名が選ばれました。

受賞者は本誌22、23頁に掲載いたしました。

### ◆第77回謙慎書道会展表彰式・祝賀懇親会

三月二十二日正午から標記表彰式、祝賀懇親会がザ・プリンスパークタワー東京において開催されました。一〇六〇名が出席し、厳

肅な式典と楽しい祝賀会の一時を過ごしました。

とりわけ御長壽出品の皆様は丁寧な紹介があり、本会から理事の武田紅春様、評議員の磯崎篠志様、高橋白羊様が出席され、壇上で表章されました。

とりわけ御長壽出品の皆様は丁寧な紹介があり、本会から理事の武田紅春様、評議員の磯崎篠志様、高橋白羊様が出席され、壇上で表章されました。

### ☆第16回杉並書道人協会展

会期 四月十八日(土)～二十一日(火)

会場 セシオン杉並

(地下鉄丸ノ内線東高円寺徒歩7分)

出品者 杉山暁雲 古賀沙苑 杉山窓影  
(本会関係)

### ◆第54回書象展添削会及び最終選考会

標記の添削会が、去る三月十五日、二十九

日の両日に武藏野スイングホールで開催され

ました。早朝より、各支部毎にまとめられた作品について、講師の先生方の丁寧かつ熱心

な批評と添削指導が行われました。また標記

の最終選考会が、去る四月五日(日)に武藏野プレイスで開催され、出品手続を完了しました。

### ◆第31回成田山全国競書大会

標記コンクールに多数応募いただき、活発な競書大会となりました。二月十一日に行わ

れた全国各地区審査、三月八日の中央審査を経て、十五名の中国派遣児童が選出されまし

た。各支部への賞状賞品は四月下旬に送付されます。授賞式は四月四日(土)成田山新勝寺で

とり行われました。

### ☆第38回謙慎書道会東部展

会期 五月十五日(金)～十七日(日)

会場 山形美術館

### ☆第10回記念滋賀書作家協会会員展

会期 四月二十三日(木)～二十六日(日)

会場 大津市歴史博物館

出品者 武原幽節(本会関係)

春季  
昇段級試験

要項

師範昇格試験

要項

左記の要項にもとづき昇段級試験並びに師範昇格試験、特待生試験を行います。ふるって力作を御出品ください。

昇段級試験

出品規定

●小・中学生

五月号の毛筆規定  
五月号の硬筆規定

●一般

四月号の漢字条幅規定  
五月号の隸書条幅規定

五月号の楷書臨書規定  
四月号の行書臨書規定

五月号のかな規定  
五月号の硬筆規定

1 左記形式の出品目録正副一枚に必要事項を記入して、作品と共に提出して下さい。

2 返信封筒を添える」と。(小さい封筒は不可、長3が良い)  
(住所、氏名を明記、八二円切手貼付)

3 段級位の認定証は一部三〇〇円です。認定証の要のみ記入し、「要」の場合は出品料の欄に加算して下さい。(個人で認定証を申込む時は返信切手一四〇円を同封し、返信用封筒は不要)

4 師範の認定証は八月号発表後に申し込んで下さい。

5 為替・振込にての送金は御遠慮下さい。

☆出品料が千円以下の場合は切手でも結構です。

学生区分	別	各体区分	氏名	出品の種類	審査の結果	認定証	書出	品料
一般								

特待生試験

出品規定

●小・中学生で現在準八段の者  
出品規定

●小・中学生は昇段級試験と同じ  
(級位用)

●小・中学生一点につき 五〇〇円

●小・中学生一点につき 五〇〇円

締切日 五月一十一日(木)(厳守願います)

発表

出品者あて成績通知をもって発表にかえさせていただきます。

師範試験及び特待生試験の合格者は八月号誌上に発表の予定。

出品先 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六 上條方

書象会藤森大節 あて

氏名	発行人 (有)書象
印 刷 所	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六
株 式 会 社	上 條 貞
リ ン ク	上 條 貞
象	上 條 貞



張廉卿陵園完成記念DVD (カラー全50分)

# 師生四代 友好の陵園

## いま、上條信山先生の すべてが甦る！

■製作 有限会社 書象  
■脚本・構成 魚住卿山  
■題字 田中筋山  
■定価 1,500円  
(消費税・送料込み)  
■申し込み先 書象会事務局

待望の復刻

2001年3月28日、中国湖北省鄂州市に建設中の張廉卿陵園が完成し、書象会員参列のもとに記念式典がおこそかに催された。本巻はこの陵園の完成を記念して、張廉卿、宮島詠士、上條信山、さらに書象会員の師生四代を巡る情誼を描き、信山芸術の真価を伝える感動の記録である。